

総合戦略掲載施策関係意見集約表

項目No.	基本方針	戦略を構成する施策	市民意識調査結果	子育てアンケート結果	市民対話会意見	一対話会での市長コメント	部会との関連意見	青年団体提案	青年団体提案に対する市長コメント	男女共同参画の会	パブリックコメント(アイデア募集)	担当課	事業概要(具体的な施策)	戦略掲載可否	実施期間	事業費(千円)	予算措置状況(新規・継続・拡充)	対象者	(業績評価指標) H26年度時点	(業績評価指標) H31年度時点	備考	
1	ひとづくり	子育て世帯の負担軽減など、安心した子育て環境の提供					・小さい時からの子育ての充実が必要。															
2	ひとづくり	・不妊・不育症治療に要する医療費助成事業		・不妊専門の病院が欲しい。仕事後に通える病院が欲しい。	・「不妊治療費免除」などどうか。							保健センター	子供を授かりたいという気持ちがあるが、特定不妊治療以外の治療法によっては妊婦の見込みがないか又は極めて少ないと医師に診断された法律上の婚姻を結んでいる夫婦に対し、不妊・不育治療費助成、特定不妊治療・人工授精の不妊治療及び、不育治療にかかる費用	する	H27~H31	4,700	継続	不妊・不育治療費助成対象者	合計特殊出生率 1.75 希望出生数 2.29	合計特殊出生率 1.79 希望出生数 2.34		
3	ひとづくり	・妊婦前から、妊婦、出産までのサポート事業(「家」妊活アドバイザーと共にも歩こうのとり事業)		・自然分娩、自然医療、給食の見直し等、自然子育てできる環境を整え、不妊にならない環境を作りたい。 ・不妊専門の病院があると嬉しい。 ・仕事後に通える病院が欲しい。 ・出産ができる病院が2箇所しかなく、総合病院だと担当医もなく、同じ産婦人科に妊婦から出産まで診てもらえない。 ・出産に対し、経済的な支援が欲しい。 ・第3子以降の出産祝い金を増やして欲しい。	・子育て支援の充実、イベントの充実/魅力ある地域づくり/出産・入学祝い/子供を増やしたいという決意を共有する/今までの施策を更なる充実/集会所(子ども老人会での人が集まれる場所)- 明倫		・産婦人科が2か所しかなく、出産には不安がある。また、医師不足もあり、長期入院が難しいことが課題。 ・衰退した他地域の事例(愛媛県川之江市)をあげると、医療と教育の衰退が原因であるとの情報があった。特に中央病院がなくなったことが大きいようだ。倉吉市においても、県立病院をなくさないよう施策を打ってほしい。また、市内に産婦人科は2つあっても、産科は1つしかない点も不安である。					保健センター	妊婦前から、妊婦、出産と女性の人生の大きなイベントをサポートし、メンタル面でのケアを行うための、医療機関との連携によるアドバイス、同年代のママ友サークル等の活動の支援として、母子保健相談支援事業を行い、母子保健コーディネーター(保健師・助産師等)による妊婦・出産にかかわる相談・支援サービスの充実と連携強化を図る。	する	H27~H31	2,500	拡充	市民	合計特殊出生率 1.75 希望出生数 2.29	合計特殊出生率 1.79 希望出生数 2.34		
4	ひとづくり	・子育て情報わかりやすく身近に発信事業		・子育てに関する情報が入ってこない。 ・CMやポスターなどでPRを。 ・何をしても知らない。 ・イベントに対して市民の認知度が低いように思う。 ・子育てバスポートは知らなかった。 ・支援センターの行事予定を月々まで1次月のを載せてほしいです。 ・子育ての悩みを行政に伝える方法が分からない。	・市の幹部に、人口減少時代における結婚、子育てについて10年前からいかに提案をしたか、取り合ってもらえなかったことがある。 ・一人親の場合、単発的に子供を見てもらいたいというニーズがあり、東京都ではベビーシッターを派遣するなどの制度がある。困ってからの支援ではなく、その前に支援の手差し伸べることが必要。 ・米子等と比較して、倉吉は子育てしやすい環境が整っていると思うので、「子育てしやすいまち」としてPRしていくべきだと思う。		・子育て環境が整っていると思うが、そのことを理解していない保護者が少なくない。第3子以降の子育てサービスまで第2子までと差をつける。第3子以降の手厚くするなどはどうか。 ・鳥取県では、若者や県外者に向けたPRとして、また兵庫県相生市では、子育て支援のPRとして、テレビCMを流しているが、倉吉市でも同じようなことはできないか。					子ども家庭課 保健センター	子育てに必要な情報を分かり易く、迅速に伝えるための、関係関係の情報、関連イベント、保育料の補助・助成制度、地域でのママ友サークル等の活動の支援として、母子保健相談支援事業を行い、母子保健コーディネーター(保健師・助産師等)による妊婦・出産にかかわる相談・支援サービスの充実と連携強化を図る。	する	H27~H31	1,500	拡充	子育て世代	子育てや子育て支援サービスの情報が少ないと感じる子育て世代の割合 9.8%	子育てや子育て支援サービスの情報が少ないと感じる子育て世代の割合 5.0%	地域における子育てを応援する観点から、子育て世代だけでなく、全世代を対象に子育てに関する情報を発信することを前提とする。	
5	ひとづくり	・出産後の育児不安の軽減を図る産後ケアサポート事業		・若者に保育料の軽減や、未入所児については何らかの助成を考慮してほしい。 ・産婦人科が少なく、救急外来も少ない。保育園での食育プログラム対応への経済的なサポートが欲しい。 ・出産できる病院が少なく、経済的な支援が欲しい。 ・殺人、虐待、変質者の話が多く、安心して子育てできない。 ・産婦人科、医師の充実を。 ・小児科の待ち時間が長すぎる。 ・保育園の平日の行事が多すぎる。 ・「妊婦さんに優しいまち」とPRしているが、妊婦中そう感じたことがなく、倉吉は子育て施策が充実していないと思う。 ・今年度より始まった保育園の保育時間を決める制度は厳しい。従来通りが良かった。	・子育て支援の充実、子供を増やしたいという決意を共有する。- 明倫 ・若者の定住の推進- 資金面の支援 - 北谷 ・子育て支援。地域の受け皿を作る/病院・保育所等の拡充整備 - 上灘 ・出産・子育てしやすい環境。- 上灘 ・子育ての支援・充実。- 高城		・子育て世代の夫婦へのサポートが出生率に影響するのではないか。 ・子育てママにとって経済的支援も大事であるが、子育てママが時間的ゆとりを持って育つサポートできる方法は考えられないか。例えば、子育て支援センターでは短時間の預かりをしているが、予約が必要である。予約なしでも1~2時間子供を預ける事ができれば、急な予定に対応しやすく、息抜きもできると思う。					保健センター	妊婦前からの切れ目ない子育て支援の充実を図るため、産院も退院し、心身ともに不安定になりやすい産後4か月までの時期に、「産後母子ショートステイ」や「産後母子デイケア」を提供。育児不安の早期解消を図り、児童虐待等の未然防止を図る。また、地域の助産所と行政が連携を図り、出産直後からの地域での子育て支援を強化。連携体制の構築・強化/ ケアサポート内容の検討 妊婦・出産包括支援事業 妊婦前から出産後までの、心身共に不安定となりかねない産後を総合的に支援することで、子育て支援の充実を図る。	する	H27~H31	新規	妊産婦乳幼児	合計特殊出生率 1.75 希望出生数 2.29	合計特殊出生率 1.79 希望出生数 2.34			
6	ひとづくり	・子育て家庭を地域で支えるファミリーサポート推進事業		・安心して子供を預けて働ける環境づくりを。 ・家庭、地域で子育て出来る環境づくりを。 ・女性管理職では子育て出来ない。 ・ひとり親家庭でも子育てしやすい環境整備として、低廉な住宅、預かり保育などの充実を。 ・保育料の軽減、未入所児については何らかの助成を。	・両親が病気になる時、子どもを預けることがない。 ・子育ての情報が入ってこない。PR不足。 ・殺人、虐待、変質者の話が多く、安心して子育てできない。 ・勤め先の理解も少なく、なかなか産休・育休が取れない。 ・非正規社員の方にも育児休暇を設けるなど、企業が出産や子育てに理解してくれる中にして欲しい。 ・ひとり親家庭の子供への支援制度の充実が必要。 ・現状について話を聞くと、今すぐに子どもが欲しいとは思えない。もつと子育てサポートの充実を。 ・子育て支援をうたっている割には、まだまだ不十分。 ・仕事と子育ての両立は、実家の協力がなくては難しい。 ・就業時間が不規則な職業は若年層への求人が多く、そういった人たちへの理解ある制度が欲しい。 ・子供が病気の時に休みにくい。 ・小児科を安心して預けられる施設の充実を。 ・学童クラブの利用時間が短すぎて、送り迎えの時間が合わず勤務しづらい。		・子育て支援の充実。- 明倫 ・保育環境の整備 - 北谷 ・子育て 地域としての見守り活動 - 西郷 ・子育て支援。地域の受け皿を作る - 上灘 ・出産・子育てしやすい環境。- 上灘 ・子育ての支援・充実。- 高城 ・子育て支援策-小鴨 ・子育ての支援/地域が一緒に子供を育てる - 小鴨 ・子育て・育児に専念できる - 社		・子育て世代の夫婦へのサポートが出生率に影響するのではないか。 ・子育てママにとって経済的支援も大事であるが、子育てママが時間的ゆとりを持って育つサポートできる方法は考えられないか。例えば、子育て支援センターでは短時間の預かりをしているが、予約が必要である。予約なしでも1~2時間子供を預ける事ができれば、急な予定に対応しやすく、息抜きもできると思う。					子ども家庭課	ファミリーサポートセンターや地域の自主的な子育てサークル活動への支援、民生委員・児童委員などによる児童福祉活動など、身近な地域で助け合いの精神に基づいた相談や情報提供、育児活動などの自主的な地域活動を促進するとともに、地域の活動を支える人材の育成や連携の推進を図る。 また、子育ての問題を地域の課題として住民が共有し、地域全体で子どもを育てる意識のもとで地域の子育てネットワークの構築を図る。 子育てネットワークの構築/ 子育てに関する団体などへの助成	する	H27~H31	- 継続	子育て世帯	ファミリーサポートセンター提供会員及び依頼会員数 50人	ファミリーサポートセンター提供会員及び依頼会員数 100人	
7	ひとづくり	・元気な高齢者に地域の子育ての担い手になってもらう事業(「イクイ&イクイ」は活躍事業)		・安心して子供を預けて働ける環境づくりを。 ・ひとり親家庭でも子育てしやすい環境整備として、低廉な住宅、預かり保育などの充実を。 ・家庭、地域で子育て出来る環境づくりを。 ・女性管理職では子育て出来ない。 ・保育は自力、地域でやってきた。	・両親が病気になる時、子どもを預けることがなく、困ったことがある。 ・仕事と子育ての両立は本当に、実家の協力がなくては難しい。 ・数時間でも子供を安心して預かってくれる施設など充実しているから、近くに両親や頼れる人がいない家庭でも安心して子育てできる。 ・親戚以外で助けていただけようになると子育てがしやすく母親にも気持ちの余裕ができ、やさしい気持ちで子どもと向き合えると思う。 ・天候が良い時でも不審者への不安から、のびのびと遊ばせてやれることが少なく、地域で守ってやれる体制が必要だと感じる。		・一人親の場合、単発的に子どもを見てもらいたいというニーズがあり、東京都ではベビーシッターを派遣するなどの制度がある。 ・年齢の方に、保育を頼む際、保育知識がなかったり、不安を感じることもあることから、最新の保育知識を学んでもらう場を設けることで、安心して保育を頼める環境が整備できる。 ・年配の方から倉吉の文化や歴史などたくさんある。					子ども家庭課	元気で過ごされている高齢者が多い倉吉。マンパワーとして、また新たな活躍の場として、「地域で行う子育て」に参加してもらい生き生きと暮らしていただくよう、ボランティア団体や地域団体との連携・協力のもと、機会の提供、世代間による育児に対する価値観のミスマッチを解消する高齢者の方々の勉強会なども開催。 人材育成/ 活躍の場の提供/ 人材と活躍の場のマッチング ファミサポ、シルバー人材センターの強化	する	H29~H31	900	新規	子育て世帯	イクイ&イクイは会員募集 会員認定件数 0件 研修会の実施 0件	イクイ&イクイは会員募集 会員認定件数 130件 研修会の実施 39回	県事業 子育てマスターとの連携	
8	ひとづくり	・ベビー用品活用(レンタル&リユース&リサイクル)事業		・ベビー用品のレンタルなどのサービスがあるが、かなり割高な状況。もっと利用しやすい金額でサービスをして欲しい。	・子育てに当たり、お金をかけずにできる支援もあると思う。困った状態になってからの支援ではなく、その前に支援の手を差し伸べることが必要である。							子ども家庭課	小さいお子さんはあつとい間に大きくなっていく。ベビー用品のサイズが変わっていくスピードも速い。ものによっては子育て用品の試用期間はとても短く、購入すると高くつきすぎる。これらのニーズを考えた、レンタルをリユース・リサイクルを行う。品質やきれいさ、清潔さに関しては一定基準を設ける。基準値に合格したものはベビー用品バンク(仮)などに保管し、利用希望者に情報を公開する。	する	H29~H31	300	新規	子育て世帯	ベビー用品バンク(仮)-未設置	ベビー用品バンク(仮)の設置	民間企業があることから、需要調査が必要である。	
9	ひとづくり	・第3子以降の保育料無償化事業		・安心して子供を預けて働ける環境づくりを。 ・育児施設(公共保育所) ・保育料を無料にする。 ・保育料が高く、倉吉から移住する人が多い。 ・第2、第3子以降の祝い金が必要。 ・若者に対し、保育料の軽減、未入所児への何らかの助成について考慮を。 ・年収による保育料の比率の方をもう少し考えてほしい。	・第3子以降の出産祝い金を増やして欲しい。 ・出産に対する経済的な支援が欲しい。 ・保育料が高く、負担が大きいこと子育ての不安につながる。 ・経済的な行政支援の充実は、県内で統一して欲しい。 ・県などでは第3子が生まれても上の子が高校を卒業してしまうと該当しないなど、納得いかない点がある。 ・仕事と子育ての両立は本当に難しく、もつと子育て世代に支援金を。		・子育て世代の夫婦へのサポートが出生率に影響するのではないか。 ・倉吉は保育所が多く、待機児童がない。また、保育所は地域にあつてこそなので、遠くになればなるほど、親の負担が増える。このような条件が満たされていると、親として非常に心強い。	・子育て環境が整っていると思うが、そのことを理解していない保護者が少なくない。第3子以降の子育てサービスを第2子までと差をつけるなどしてはどうか。むしろ、第2子までのサービスを第3子までと差をつけるなどしてはどうか。 ・収入の面で第2子、第3子は作りにくい。 ・教育費については、中学生までは全て無料とし、保育費は無料とする。安心して子育て支援制度とする。			子ども家庭課	第3子以降の幼稚園や保育所の料金を無償化することで、子育て世代の出産及び子育てへの不安を緩和し、安心して出産に向かっていたこと、市内の人口増加に資するもの。 また、第2子への支援拡大についても検討を行う。	する	H27~H31	300,000	継続	未就学児の世帯	待機児童0人の継続 第3子以降の保育料無償化 第2子への支援拡大	待機児童0人の継続 第3子以降の保育料無償化 第2子への支援拡大			

総合戦略掲載施策関係意見集約表

項目No.	基本方針	戦略を構成する施策 ※印は骨子記載の主要な施策の柱、中点印は骨子記載のもの、赤字は市民提案等によるもの。	市民意識調査結果	子育てアンケート結果	市民対話集意見	一対話集会での市長コメント	部会の関連意見	青年団体提案	一青年団体提案に対する市長コメント	男女共同参画の会	パブリックコメント(アイデア募集)	担当課	事業概要(具体的な施策)	戦略掲載可否	実施期間	事業費(千円)	予算措置状況(新規・継続・拡充)	対象者	(業績評価指標) H26年度時点	(業績評価指標) H31年度時点	備考	
10	ひとづくり	病児・病後児に加え市内民間保育園と連携した夜間保育検討事業	・安心して子供を預けて働ける環境づくり ・育児施設(公共保育所)の拡充 ・若者に対し、保育料の軽減、未入所児への何らかの助成について考慮を	・時間単位での保育や、夕方以降、夜間も保育園に手軽に預けられる環境が整うと安心して暮らせる。 ・土日も保育して欲しい。 ・お昼でも受診できるように病院は交番で休んで欲しい。 ・病児保育や病後児保育を増やして欲しい。 ・土日の保育サービスが整っていないので、サービス業以外の職種を探さないとけない。 ・子供が病気の時に預かってくれる人がいなくて困っている。	・子育て支援の充実 - 明倫 ・子育て支援、病院・保育所等の拡充整備 - 上瀬 ・産産・子育てしやすい環境。 - 上瀬		・子育てママにとって経済的支援も大事であるが、子育てママが時間的ゆとりを持てるようサポートできる方法は考えられないか。例えば、子育て支援センターでは短時間の預かりをしているが、予約が必要である。予約なしでも1〜2時間子供を預ける事ができれば、急な予定に対応しやすく、息抜きもできると思う。			・園舎でも、病児・病後児保育、夜間保育が必要		子ども家庭課	ニーズ把握を含め、モデル的に夜間保育サービスを提供するための検討を行う。	する	H29～H31	50	新規	子育て世帯	夜間保育のニーズ把握	ニーズに応じた夜間保育の実施	事業実施前にニーズ把握が必要	
11	ひとづくり	高校生までを対象とした特別医療費助成事業	・高校生までの経済支援が必要。	・老人よりも子どもを一番に考えてインフルエンザなどの予防接種(に対し、もっと補助を欲しい。 ・子育てにあたり医療費や教育費等どうしてもお金がかかってしまうので支援してほしい。 ・子どもの医療費を無料にして欲しい。 ・医療費を小学生まで無料にしてほしい。(以前住んでいたところではそうだった) ・子育ては、中学までで終わりでではないので、その後も金額面での支援が欲しい。	・子育て支援の充実、今までの施策を更なる充実 - 明倫 ・子育て支援。 / 医療の無料化(0才～高校生) - 上瀬 ・子育ての支援・充実 - 高城		・子育て世代の夫婦へのサポートが出生率に影響するのではないかと			・医療費は0歳～中学生までは原則無料とする。高校生については特別医療費助成となるようにする。		医療保険課	県と連携し、これまで中学生まで対象としていた特別医療費助成を、H28年度から対象を高校生まで引き上げる。	する	H28～H31	1,238,944	拡充	18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者	16歳以上の受給資格者数 H26年度時点:0人	16歳以上の受給資格者数 H31年度時点見込:1,500人		
12	ひとづくり	・ショッピングセンター内に雨天でも子育て世代が集える遊戯スペース整備事業	・若い人や子供たちが遊べる娯楽施設が全く整っていない。 ・未来中心の遊具が人で溢れており、使用できないことが多い。 ・子どもふれ合い遊ぶ場所として、芝が広がるといい場所を作ってもいい。 ・小学生が土日・雨の日遊ぶところがない。 ・意見駅を中心にイオン等、家族で遊べる場所が欲しい。 ・子どもがのびのび遊べる場所を作ってほしい。	・土日・雨天でも子供が喜び、安心して遊べる屋内施設や屋根付き公園を作りたい。 ・公園の遊具を増やして欲しい。 ・遊べる公園が少なく、草が伸び放題など管理も悪いので改善して欲しい。	・子育て支援の充実 - 明倫 ・子供遊び場 - 西郷		・大きな子どもと小さな子供を連れて外出する時、行けるところが限られてしまうため、例えば、自然に囲まれた環境で、動き回れるような広いスペースの図書館等があると魅力的だと思う。 ・子育て環境として、とても良い〇〇の施設がある!ということは、移住者を呼び込むいいPRになる。					総合政策課	事業内容概要 - パープルタウンの3階を子ども向けの遊戯スペースとして大規模に改修するとともに、子ども専用ポイントカードを作成。 遊戯スペースの改修/ポイントカード導入のシステム構築 ⇒経済産業省補助金を活用し、市からの補助支援は予定していない。そのため戦略掲載による交付金は使用しない。	しない	H27～H31	未定	新規	倉吉市山根エリア街づくりまち協議会 パープルタウン株式会社	遊戯スペース利用者数 0人 ポイントカード利用者数 0人	遊戯スペース利用者数 ポイントカード利用者数	中心市街地活性化基本計画掲載の補助金を活用予定	
13	ひとづくり	・出会いの機会を強化し、子どもを持つ喜びを感じられる取り組みを推進	・結婚されていない方が多くなりました。人口減少はここにあると思います。 ・異性と出会いがない。40～50代の男性でお嫁さんが欲しい人が漏りに沢山おられます。女性は晩婚化が進むと子供が欲しくても産めなくなってしまう。	・我々の業界の中でも、市の幹部の方に、人口減少時代における結婚、子育てについて10年前くらいに話をしたが、取り合ってもらえなかった。																		
14	ひとづくり	・マッチングと結婚観・家庭観を押し広げるライフサポーター養成・設置事業	・出会いが無い。	・再婚(お見合いやまちコン)できる環境を増やしてほしい。情報が入ってこない。宣伝不足、アピール不足。 ・婚活パーティーで町おこしの活性化。 ・毎日仕事に追われて、帰っても安らげない。子ども欲しいがあらめられている。ストレスも多くあり考えられない。	・仲人の市公認制度(おせっかいさん) - 明倫 ・婚活の促進!(独身を集めて話しをしないという意味がない。) - 西郷 ・結婚・婚活の推進 - 高城 ・仲人制度 - 上瀬 ・集落ごとに毎年1組結婚させる取組を。 ・ひっつけおばさん - 上小鶴 ・未婚、晩婚化の解決 - 上井 ・男女の出会い結婚、出産 - 上井 ・結婚/行政が強制結婚(見合い)させては - 上井 ・結婚(お節介り)、お見合いの復活 - 小鶴		・不妊治療を行う女性が増えているが、その前に子供を作らうと思ってもらうことも大切だろう。 ・晩婚化には、働く女性のライフスタイルの多様化があると思う。この思いが、「家庭を持つこともいいかも」に変われば、結婚につながるのではないかと。 ・私自身は、はやく結婚した時のメリットを考えて、結婚を決めた。(例えば、授業参観時には若い父親として、参加したい。成人式時には、何歳になっている等。)このような、人生設計の具体的なイメージを学べる場があっても良いのではないかと。 ・子どもを持つ喜びを感じられるというフレーズは、とても良いと思う。子育ては大変だが、育ててみるといつの間にかそれが生きがいとなっている。これをまだ子どもを持たない世代に伝えていければ・・・ ・子どもを持つ喜び)について、人生観を強要するわけではないが、周知していくことは大いに共感している。同時に、女性の出産や子育てがいかに大変で責任のあることなのかも伝える必要があると思う。					地域づくり支援課	多くの独身男女が結婚して家庭を持ち、子供を産み育てたいという気持ちを醸成するため、結婚のきっかけとなる出会いの場や情報提供の充実を図る。 ・おせっかいさん(仲人)活動支援 ・結婚、子育てに関する講演会 情報提供/ 出会いの場の創出	する	H27～H31	5,000	新規	未婚の人、おせっかいさん	おせっかいさんによる成婚0件	おせっかいさんによる成婚20件	県事業の動向などを注視しながら事業化について検討する。また、中部圏住自立圏についても併せて検討を進める。	
15	ひとづくり	・広域的な結婚活動及び婚活パーティー支援事業	・鳥取市の様に町コンを行うなども行ってほしい。 ・婚活支援	・再婚(お見合いやまちコン)できる環境を増やしてほしい。情報が入ってこない。宣伝不足、アピール不足。 ・女性は仕事をやめずに出産し、子育てとなると難しい所があります。保育所はありますが、会社がまだ子育てに理解のない会社が多く、仕事をやめざることを求めています。よって仕様がきちんとできて、金額的に余裕ができる、30代に出産となります。もう少し企業のサポートが欲しいところなので、その企業と行政が連携してサポートしてほしいです。	・婚活事業に対する助成。情報発信・収集/旅行業法がネック - 北谷 ・婚活の促進!(独身を集めて話しをしないという意味がない。) - 上北条 ・農大生と短大・看護大が合コン - 開金 ・「結婚」に止らず、出会いの場を多く作り前向きになってもらう。男女の出会いの場として、各地域でもっと多くイベントを/ 若い人の出会い/ 青年団の復活 - 高城 ・結婚・子育て支援、出会いの場づくり - 社 ・出会いに機会をつくる - 上小鶴 ・未婚、晩婚化の解決 - 上井 ・若者が集まれる場所/ 男女の出会い、結婚 - 上井 ・婚活パーティーの費用を行政が負担 - 上井		・地域で縁組の男性が、結婚せずに地元で留まっている。出会いの場どうしよう。友達とふれ合いの場などを広げていけば良いのでは。 ・行政が交流の場を設けて、参加してほしいと思う人は、総じて出てこないものである。このような人に参加してもらうには、口コミや人伝いで広まる場を提供する必要があるのでは。 ・北条町では女性力を磨き、結婚への意識を上げていく取組をしている。これに負けずに、倉吉市、中部全体に広げたいと思う。					地域づくり支援課	鳥取県中部定住自立圏圏で各市町が実施している婚活の取組を集約し、スケジュールメリットを生かした活動を推進するもの。	する	H27～H31	9,436	新規	独身者(不問)	なし	カップル成立数 参加者の5割	H26倉吉市 16人/40人	
16	ひとづくり	・サークル活動による仲間づくり推進事業		・人間関係の充実 - 小鶴 ・青年団の復活 - 高城			・若い人たちが集まれる場として、夜や土日にも教室を開催する。学び(趣味、スポーツ、産業研修等)の場を作る。断続した場の方が婚活にも結び付きやすいように考えます。会場利用に補助があると助かります。					地域づくり支援課	「婚活」という言葉にどうも抵抗感がある方が多い。結婚の前に、横のつながりの高さを「仲間」づくり＝サークル活動により持つように働きかけ、趣味や嗜好が似ているという切り口からの関係作りなので、自然に距離も近くなるのが狙い。	しない						生涯学習事業、民間の事業で対応されたい。		
17	ひとづくり	・出会い力・女子力・男子力アップスクール事業	・若者の交流事業。	・男子力・女子力UP - 明倫								地域づくり支援課	従来の婚活支援は出会いの場の提供がメインだったが、成功率を高めるため、会話力など人材育成が重点に恋愛・結婚心理カウンセラーなどの専門家を講師に、講義やグループワークで、異性の心理理解や会話・交際力の向上を図る。	する	H27～H31	2,500	新規	独身者(不問)	なし	カップル成立 参加者の5割	H26倉吉市 16人/40人	
18	ひとづくり	・移住希望者に魅力を伝え、あたたかく迎え入れる体制を推進	・才能あるセンスのある人がUターン・ターンする街にしたい!	・地方創生についてはどのようなことが効果的だと考えているか。 ・人口維持のために、これまで企業誘致、移住定住などに取組んでいるが、人にもお金にも限りがある中で、優先順位をつけながら必要な施策をいかに取組を進めている。	・人口維持のために、これまで企業誘致、移住定住などに取組んでいるが、人にもお金にも限りがある中で、優先順位をつけながら必要な施策をいかに取組を進めている。		・人口維持のために、これまで企業誘致、移住定住などに取組んでいるが、人にもお金にも限りがある中で、優先順位をつけながら必要な施策をいかに取組を進めている。					地域づくり支援課	移住者が移住者を呼び込むための移住アドバイザーの設置と情報発信の強化。	する	H27～H31	60,000	新規	移住者定住者	移住者数 100人/年	移住者数 800人(200人/年)	1,000人/5年	

総合戦略掲載施策関係意見集約表

項目No.	基本方針	戦略を構成する施策 ※◆印は骨子記載の主要な施策の柱。中点印は骨子記載のもの。赤字は市民提案等によるもの。	市民意識調査結果	子育てアンケート結果	市民対話会意見	一対話会での市長コメント	部会関連意見	青年団体提案	青年団体提案に対する市長コメント	男女共同参画の会	パブリックコメント(アイデア募集)	担当課	事業概要(具体的な施策)	戦略掲載可否	実施期間	事業費(千円)	予算措置状況(新規・継続・拡充)	対象者	(業績評価指標) H26年度時点	(業績評価指標) H31年度時点	備考		
19	ひとづくり	若者に優遇税制事業		・倉吉は土地も税も高いので、永住しようとは思えない。	・若者に優遇税制を - 上瀬 ・出産・子育てしやすい環境。税金 - 上瀬 ・若者が倉吉に定住出来る様にしてほしい。子育て世帯の負担軽減、税金が高い。おもしろい税金対策 - 高城		・子育て世帯の夫婦へのサポートが出生率に影響するのではないかと。					税務課	多くの若者の所得は低く、それが結婚・子供を持つハードルになっている。そこをサポートすることによって、移住・定住、結婚、子供をつくってもらえる土台づくりにするため、移住者や若者への優遇制度として、倉吉市若者定住新築住宅の固定資産税減免条例(平成19年3月条例第7号)に基づき実施している固定資産税の減免について、対象年齢等の拡充について検討を行う。	する	～H28	0	拡充	戸建て住宅建築及び購入者、新築分譲マンション購入者	減免件数	減免件数	事業費欄に記載は無いが、拡充により歳入の減少が伴う。対象年齢:35歳以下 減免期間:3年間 減免額:地方税法附則に定める軽減相当額		
20	ひとづくり	窓口の移住相談員・地域内の移住コーディネーター配置事業	・地域外より転入定住支援を		・相談体制の充実 - 明倫 ・空き家対策。移住プラン活用。 - 北谷 ・集落支援員 - 北谷 ・移民の奨励 - 西郷 ・移住者をあたたく迎え入れる。集落支援員を増やす - 開金							地域づくり支援課	県主催の就職相談会への参加、倉吉市開西事務所や財団法人ふるさと鳥取定住機構等との連携、市内企業の求人情報の提供充実などにより、IUターンへの受け入れ態勢を強めていると感じています。現在、様々な災害が起きており、東京を出がっている人も多く、かなりのポテンシャルを秘めていると感じています。	する	H27～H31	19,000	継続	移住・定住希望者	大阪10回	大阪12回・東京6回	東京3人150		
21	ひとづくり	孫ターン、定年後IUターンの促進事業(楽くらし、親でよし! 味わってよし! 暮らしてよし! 推進事業)			・50～60代の世代で倉吉に帰ってきた気持ちはあるものの、配偶者と共に配偶者の出身地や別の町に住んでいて、自身の気持ちだけでは倉吉に帰ってくる選択が迷いに至りにくい。 - 明倫 ・孫ターンで帰ってきてほしい。 - 明倫 ・帰ってくる。キャリア教育/親の教育/高校生への教育 - 上瀬 ・子をつれて帰ってくる(開金可)				・鳥取県では、若者や帰省客に向けたPRとして、また兵庫県相生市では、子育て支援のPRとして、テレビCMをたくさん流しているが、倉吉市でも同じようにPRすることはできないか。				地域づくり支援課	山陽、上方方面から事情のある方が倉吉を目指し定住し、平穏な暮らしをしたと聞いた。海あり、川あり、山あり。動植物も豊かで生活するには最適な地である。定年退職の80代を呼びこみ、次につなげてほしいと思う。	する	※20に含む	-	-	-	-	-	-	-
22	ひとづくり	田舎暮らし体験ツアー、お試し住宅設置事業	・地域外より転入定住支援 ・倉吉市の自然や環境を全国にアピールしどんどん来てもらえるようにしたい。		・市が個人住宅を建て20年返済後、取得できるよう、永住を条件として売り出す。移住総合窓口の設置 - 明倫 ・農業・自然体験ツアー - 北谷 ・菜園付住宅(空き家や有休農地)。農業を支援する方の移住を支援。空き家対策。移住プラン活用。農業を目的とした移住/おためし住宅 - 北谷 ・農山村の風景を守りたい! / 空家をリフォームして住んでもらい地区を盛り上げる。 - 上北条 ・移住・定住の推進。空き家の活用 - 開金 ・農業を始めたい人/体験/空き家確保		・「体験型旅行誘致協議会」では、教育旅行に関してさらに絞り込んでターゲット、人数規模などを出していく必要があると考えている。	・地方創生についてはどのようなことが効果的だと考えているか。	・移住定住については、交流人口、外国人観光局の誘客などをいかに伸ばすかということが大事だと考えている。			地域づくり支援課	高齢化・農業後継者不在による耕作放棄地の拡大、空き家の問題等の課題を抱えている地区で、これらの課題を解消するために、住民と行政の連携にて「お試し住宅」「田舎暮らし体験」を運営、滞在中に農作業を手伝ったり、農家に弟子入りしたり、「IUターン」を促進。体験ツアーの充実/お試し住宅の整備/PR	する	※20に含む	-	-	-	-	-	-	-	-
23	ひとづくり	市有地分譲・売却促進事業	・移住対策として空き家の有効利用に対する補助金の確保。 ・小規模の市営住宅を得意できれば、それぞれの地域から人口が流出しなくなるのではないかと。 ・旧市街地の空き地や老朽化の激しい建物を取り壊し、宅地やアパートにしてはどうか。 ・土地が市内に無いので困っている人を見かける。 ・住みリフォーム、エコポイントの倉吉独自の制度を設けてはどうか ・古い住宅地である明倫地区には住民人口の多さに対し、公的投資が少なすぎる。		・市が個人住宅を建て20年返済後、取得できるよう、永住を条件として売り出す。 - 明倫 ・町の区切り(区分け)を若者世代向けにアレンジをする。住宅整備の補助、サポート/住宅現状の把握 - 明倫 ・遊休地を住宅地として利用 - 西郷 ・遊休地の利用。宅地育成(住むとこ) - 上北条							地域づくり支援課 財政課 建築住宅課	遊休私有地を宅地分譲として安価に提供できる取組を検討。	する	H27～H31	不明	新規	移住者定住者	なし	遊休私有地宅地分譲契約件数 8件(2件/年)			
24	ひとづくり	空き家ストック活用促進事業	・移住対策として空き家の有効利用に対する補助金の確保。 ・空き家の入居支援 ・空き家や空き店舗が多くみられますが空きバンク制度の利用は少ないのでしょうか。 ・空き屋が多いので取り壊さずに内部リフォームの上、文化借入材として利用料を取り、市の収入を潤すようなことはできないのか? ・中心市街地において空き家が虫食状態、かつ広がりを見せている。公的な投資として土地を集約し活用できないだろうか。 ・旧市街地に住みたくても住めない、併せて新居の場合、準防災地区という条件で割高な予算制限が多々あり、諦めて他町村へという例もよく聞きます。何らかの補助・支援があれば空き家・空地の解消、人口増になるのではと思います。		・住宅現状の把握 - 明倫 ・菜園付住宅(空き家や有休農地)。空き家利用の改善・契約に至りにくい。 - 北谷 ・空家をリフォームして住んでもらう。空き情報/空き家そのものの提供/空家改修の支援/1年目の空き家入居無料化。 - 上北条 ・空き家利用 - 成徳 ・空き家の確保・活用など提供する体制構築/安い戸建てを提供する - 開金 ・空き家の活用 - リフォームの相談/空き情報を発信、希望者の管理 - 高城 ・町の区切り(区分け)を若者世代向けにアレンジをする(空き家対策)/空きバンクへの加情報収集や口ききをサポート/住居リノベーション、魅力発信/住宅整備の補助、サポート、加入そうならず、住宅現状の把握 - 明倫 ・空き家は倉吉の財産/活用を工夫す		・「農地・ブランド化・空き家・再生エネルギー」をキーワードとして、活動を進めている。「農地」については、耕作放棄地を飲食店などのニーズに合わせた活用をすすめている。「ブランド化」については、倉吉の食(農産物)などの6次産業化に力を入れている。「空き家」については、地域活動の拠点として新たな役割を見出している。「再生エネルギー」については、地域規模に合った無駄の少ない循環型のエネルギー利用を考えている。	・「空き家バンク」については、古民家・空き家の活用などと併せて研究していきたい。			地域づくり支援課 農工課 建築住宅課	事業内容概要 - 「くらし空き家バンク」を活用し、倉吉市における空き家の有効活用及び定住促進による集落の活性化を図る。「くらし空き家バンク」の登録情報増進/PR強化	する	H27～H31	-	拡充	移住者定住者	空き家バンク登録件数 空き家バンク成約件数 15件	空き家バンク登録件数 空き家バンク成約件数 20件				
25	ひとづくり	空き家を学生向けに活用する事業			・シェアハウス - 明倫 ・空き家を看護学生へ提供 - 上北条							総合政策課 地域づくり支援課	シェアハウス、テラスハウスや寮として使用することによって空き家を活用する。新たな価値を空き家に見出す。	する	H27～H31	5,000	新規	学生	シェアハウス、テラスハウス等の整備 0件	シェアハウス、テラスハウス等の整備 1件			
26	ひとづくり	倉吉在住外国人との交流事業(楽くらし! 倉吉!)			・在住外国人の活用。よき者視点で倉吉の良いところを指摘してもらい、地域の良さを再発見する。 - 成徳 ・多様な人々を受け入れる - 上瀬 ・外とのパイプがある人を市が雇う - 明倫							地域づくり支援課 観光交流課	文化交流、若者世代の価値観を伝える、賑わい、農業労働力増、国際交流	しない	-	-	-	-	-	-	国際理解講座で既に実施		
27	ひとづくり	移住者による倉吉市の紹介事業										地域づくり支援課	移住者が自分の知り合い(友達、前の会社の同僚など)に倉吉での移住生活を紹介する活動を支援。	する	※20に含む	-	-	-	-	-	-		
28	ひとづくり	ふるさと納税者へのUIターンお薦め事業			・ふるさと納税者にPRしてもらおう/首都圏アンテナショップ - 北谷 ・ふるさと納税 - 明倫							総合政策課 地域づくり支援課	ふるさと納税者/県外に出た人が倉吉にどう貢献してくれるかも考える必要がある。 ・「倉吉ふるさと市民」はふるさと納税を、倉吉市民になれば優遇税制を高齢者があんしんして暮らせる社会づくり ・都会に住む倉吉ふるさと市民としてふるさと納税を行い倉吉の税収を	する	※20に含む	-	-	-	-	-	-	-	
29	ひとづくり	集落の暮らし共働ハンドブック作成事業			・相談体制の充実 - 明倫 ・移住プラン活用 - 北谷 ・移民の奨励 - 西郷 ・多様な人々を受け入れる - 上瀬 ・移住者をあたたく迎え入れる。 - 開金							地域づくり支援課	地域コミュニティ組織の紹介、年中活動の説明、助け合い活動の説明などの情報を集めて先駆移住者から田舎暮らしの移住の提供など共働ハンドブック作成	する	※20に含む	-	-	-	-	-	-	-	
30	ひとづくり	子どもたちがどこに行っても自慢しなくなる。倉吉の良さを誇りつくりを推進																					





総合戦略掲載施策関係意見集約表

項目No.	基本方針	戦略を構成する施策 ※◆印は骨子記載の主要な施策の柱。中点印は骨子記載のもの。赤字は市民提案等によるもの。	市民意識調査結果	子育てアンケート結果	市民対話集意見	一対話集会での市長コメント	部会の関連意見	青年団体提案	青年団体提案に対する市長コメント	男女共同参画の会	パブリックコメント(アイデア募集)	担当課	事業概要 (具体的な施策)	戦略掲載可否	実施期間	事業費(千円)	予算措置状況 (新規・継続・拡充)	対象者	(業績評価指標) H26年度時点	(業績評価指標) H31年度時点	備考
51	ひとづくり	女性のワークライフバランス促進 (案)家事メン増殖事業 (育児曜日など導入)				「これからの時代は、女性に視点を書く施策というのが大事と思っている。女性が活躍するのは一方では男性の働き方を見直すことも必要になって行くと思う。男性の家事参加の話し合い、それも含めて男女共同参画を考えていきたい。」-北谷 ・女性の活躍というのが一つの大きなテーマになっていくと思う。働きやすい職場の確保も大事だが、女性に活躍していただくためにも、男性の家事参加、育児取得も含めた働き方も大事なポイントになってくる。-西郷	・女性が輝かなくても願けない理由として、夫の理解が追いついていない。 ・障がい者や子供にも保護者は、仕事をしながら子育てをするにはサポートが必要である。特に家族の力は重要である。 ・子育て世代の夫婦へのサポートが出生率に影響するのではないか。 ・ワークライフバランス(WLB)が大事である。女性が活躍したくても活躍できない状況にある。男性のWLBに注目する必要がある。 ・子育てママにとって経済的支援と時間的ゆとりを持って、子育て支援センターを予約して利用できるなど、サポートできる方法は考えられないか。 ・事業者には、「働き甲斐のある職場づくり」に取り組んでもらい、県、労働局、商工会議所、経営者団体と協議して、どうすればイキイキとした職場になるのかを考えてもらいたい。 ・ワークライフバランス、男女共同参画を推進するため企業への規定			・夫婦で仕事と家庭の話を話し合う ・夫婦の働き方を夫が妻0-2ではなく、夫0.75+妻0.75-1.5 ・扶養の枠を無くす ・共働き多くくらし、会合への子供参加 ・父親を早く出す ・仕事と家庭のバランスを考える ・夫婦で話し合う ・子育ては夫婦という家庭像の浸透一啓発 ・共働き多い女性がPTAに関わっている→子供を連れて行っていいか→多様な考え ・話し合いができることを大切にすること、サポートできる方法はあるか ・事業者には、「働き甲斐のある職場づくり」に取り組んでもらい、県、労働局、商工会議所、経営者団体と協議して、どうすればイキイキとした職場になるのかを考えてもらいたい。 ・ワークライフバランス、男女共同参画を推進するため企業への規定	人権政策課 子ども家庭課 商工課	女性の活躍する機会を増やすため、男性の働き方などを見直す取組として、家事を手伝う男性を家事メンと呼ぶことをPRする。 家事メンになるためには、残業量減少などの最低条件を整える必要があるものとし、行政・企業の協働によりワークショップを行っていき、また、行政による、指標設定や、家事メン推奨事業を表彰する取組を行う。	する	H29～H31	900	新規	子育て世帯	家事メン認定数 0件	家事メン認定数 50人	県・毎月19日をとって育児の日として制定。	
52	ひとづくり	女性が求めている情報発信の促進 (案)STEM情報発信事業	・本当に仕事がない、子育てをメインとしてその次に仕事という働き方をしたい。給与はあまり下らない方がいい。 ・仕事の採用を考えてほしい。 ・若い人や女性目線での企業に対する支援金の充実。				・一人親の場合、単発的に子どもを見てもらいたいというニーズがあり、東京都ではベビーシッターを派遣するなどの制度がある。女性が困った状態になってからの支援ではなく、その前に支援の手を差し伸べることが必要。 ・女性の自立と活躍に向けて、生活環境やとりまく状況が悪くなってからではなく、色々学べる支援をして欲しい。自分で乗り越える力を身に着けるための情報提供を進めてほしい。 ・県内でも進んでいると思われる事例として、神奈川県箱根町では、婚姻届を出した時にハーフレフトをくれるように、そこには、結婚の大切さや子育ての責任など、(昔は年配から直接聞いていたが)今の若者たちが知らないライフサポート情報が届			・シングルに対する手当 ・シングルになっても充分生活できる給付 ・女性の活躍という表現「女性の社会参画」 ・やわらかい考え。こうあらねばならぬという考え	子ども家庭課 人権政策課	子育て、保育施設、小児科、補助金などの情報集約&発信、相談窓口など子育てに関するものを市役所、店舗、産婦人科などで配布	する	H29～H31	300	継続	子育て世帯	子育て情報の情報提供店舗等 0店舗	子育て情報の情報提供店舗等 20店舗		
53	ひとづくり	退職後からでも輝けるビジネスを創出し、地域の担い手と活力に貢献	・原産、地域で子育て出来る環境づくり。女性管理職で子育て出来ない。先輩は10人の子育てをやった。保育園で子育てをやったのではない。自力、地域でやってきた。子供は作るものではない。居るものではない。大切に増やして価値を高める。																		
54	ひとづくり	大学、企業、団体、地域、行政が連携し「農業」「観光」「介護福祉」「店舗経営」「地域づくり」など学びの場の提供事業	・定年退職者が出来るだけ本市に住んでくれる様、取り扱っていただくこと。		・農業大専校、倉吉農校と農業に関する教育機関が非常に充実しているので、活用したい。-西郷							地域づくり支援課 観光交流課 長寿社会課 商工課、農林課	事業内容概要 -倉吉にある各分野の大学、企業、団体、地域と行政が連携し、人材づくりを図る。	する	H27～H31	-	継続	新規就農希望者	新規就農者の累計人数 25人	新規就農者の累計人数 50人	農大、倉吉農高の活用(予算措置なし)
55	ひとづくり	定年時に農業の担い手を確保する定年帰農者総合対策事業	・現代はサラリーマンが多く、企業家が少くない。やりたい事が学べ、技術をいつでも取得出来る。例えば農業大専校の様に一般人に門戸を開く(安値で学べる場所)。 ・定年退職された学校の先生とかまだ若くて元気でおられます。そのような方にまだ必要とされる学校の方向かいろいろな分野で活躍されたいとおもいます。若い先生もいいですけど経験豊富ですまだ物足りない気が		・林業/農業-西郷 ・自分でもできることを登録し上北条人材バンク-上北条 ・食べていける産業の育成。農業だけでなく食べていける(特色ある取組み) -馬力でも暮らせる(地元大学を提携しながら農業・工業の新事業を起す。)-上郷	・「篤農家技術指導推進事業」について、新規就農者への技術指導支援については、とても良い施策だと感じている。だが、新規就農予定者についても支援できれば。						農林課	JJAの【いきいき農業塾】と連携を図り、農業基礎の拡充・活性化を目的として、新規就農者・定年帰農者及び自家消費の家庭菜園者への栽培指導、直売所出荷者の育成支援を実施。人事育成/JAとの連携体制	する	H27～H31	-	継続	新規就農希望者	新規就農者の累計人数 25人	新規就農者の累計人数 50人	農大、いきいき農業塾の活用(予算措置なし)
56	ひとづくり	都会の高齢者、呼び込み促進	・農業地域は大型農業だけではなく、小規模でも80歳位までは働けるので高所得でなくとも個性をだし、生き生き暮らせる環境であってほしい。 ・定年退職者(中高年)の働ける職場作り。今まで経験した事が活かせる様に会社への雇用を充実させてほしい。 ・高齢者の雇用促進として、フルタイムではなく、短時間労働の職種、企業が増えるような施策。		・菜園付住宅(空き家や有休農地)。 -北谷 ・空家をリフォームして住んでもらう。 -地区も盛り上がる！/移住による農業振興(県外人、外国人/JAは指導者育成する-上北条 ・都会の高齢者を呼び込む。需要を増やし/仕事が増える/特色のある老人/元気な老人を呼び込む/高齢者施設-上郷 ・農業に魅力を感じる職者を呼び込む！農大を活かして全国にPR-西郷	・高齢者福祉に焦点を当て、高齢者に優しい町にすれば、雇用も増えるの。 ・高齢者の相談に対応し、地域が住みやすくなることを目指す。 ・県内で高齢者が住みやすいまち日本一といったことを市の特徴として出せば優位性があると考えられる。 -OCRO (Continuing Care Retirement Community -健康時から介護時まで継続的ケアを提供する米国の高齢者施設のコンセプト)導入。 ・倉吉は、「住みよきラノキング」(2015年 東洋新報社)の「安心度」				・山陽、上方方面から事情のある方々が倉吉を目指し定住し、平穏な暮らしをしたと聞いた。海あり、川あり、山あり、動植物を豊かで生活するには最適な地である。定年退職の60代を呼びこみ、次につなげていってほしいと思う。	地域づくり支援課 農林課	農業の担い手としてだけでなく、定年後の住み先として選んでもらえるような取組。	する	※20に含む	-	-	-	-	-	-	-
57	ひとづくり	若い世代への新規就農促進 (案)若者10人希望者の一流農家への道・第一歩事業			・専業農家でもうかる農業をアピール！-北谷 ・農業に魅力を感じる若者を呼び込む！農大を活かして全国にPR-西郷 ・農業で生きる。ブランド化/栽培の技術を教える/流通方法-北谷 ・農業大専校と協力し、新規就農希望者への研修実施-北谷 ・外部から特に若い人を増やす	・「篤農家技術指導推進事業」について、新規就農者への技術指導支援については、とても良い施策だと感じている。だが、新規就農予定者についても支援できれば。						地域づくり支援課 農林課	先駆的10人希望者や認定農家、農業大専校での研修などによる集中的な指導によるサポート体制の充実、また、それらの人、期間が新規就農者などに対して技術指導を行う場合に対する経費の助成。新規就農10人希望者への家賃助成(2.6万円上限) -技術支援指導/家賃助成	する	※20に含む	-	-	-	-	-	
58	ひとづくり	花卉栽培促進事業										農林課	年間を通して栽培可能な花卉を女性・年配者の雇用先候補として促進する。	しない							
59	ひとづくり	高工業用研修補助事業										商工課	経営計画に基づく人材育成に係る研修についての補助を行うことを検討する。	しない							市内企業就労者
60	ひとづくり	倉吉の景観づくりの促進 (倉吉ごころによる大好き倉吉づくり事業(仮))	・街路樹や並木道、河原の整備・ゴミ拾いのボランティアもしくは日雇いのアルバイトがあれば参加したいと思う。		・高齢者も参加できるイベントを考案したい。よき餅つきやプラントナーの花植えなど地域にあるものを活かす。お年寄りの活動を促したい。それにより、ハワフルで、活動的な、元氣な高齢者が増えると考ええる。高齢者に役割を持たせると、地元の人に地元の方が協力することが大事である。	・「篤農家技術指導推進事業」について、新規就農者への技術指導支援については、とても良い施策だと感じている。だが、新規就農予定者についても支援できれば。				・飲食店を営んでいるが、春先には打吹公園の桜を目当てに倉吉市に来られたというお客様が多い。しかし、公園の桜も木化し、衰いがかかるところであるが整備を進めているところ。樹根から花が咲くまで数年かかるということなので、成果についてはお待ちいただきたい。 ・桜については、打吹公園だけでなく、鏡下谷や上小崎の桜が大きい。名所となりつつある。宴会をするような広場はないが、これら結び付けて観光資源にできるようなことを検討したい。	地域づくり支援課 建設課 学校教育課	高齢者、親子、学生など各世代を巻き込んだ景観整備、花の植え込み、草刈、雷かきなど 【景観整備】 ・天神川一斉清掃(国交省主催) 年1回実施 ・「道の日」道路清掃(県主催) 年1回実施 (参考) 市道の除草、植樹管理等の市道維持管理業務を委託により実施 H26実績 除草業務5,870千円 植樹管理10,972千円 歩道除雪については、要望のあった自他公民館へ歩道除雪機(7台)の貸出を	する	H27～H31		継続	小中学生・地域住民	家の花プロジェクト参加人数2498人 清掃活動 年1回実施	家の花プロジェクト参加人数3000人 清掃活動 年1回実施		
61	ひとづくり	倉吉・各地区の関係づくりを促進(まちづくり会社推進事業(仮))			・まちづくり会社訪問/地域の元氣(民間)-上郷							地域づくり支援課	倉吉市、市内各地区での関係づくりをサポートする。行事の開催をサポートしたり、関係づくりの仕組みづくり、コンペによる委託なども有り?	しない							
62	ひとづくり	市と地元大学が地域づくりの力を認定するコミュニティ師範(仮)養成事業	・定年退職された学校の先生とかまだ若くて元気でおられます。そのような方にまだ必要とされる学校の方向かいろいろな分野で活躍されたいとおもいます。若い先生もいいですけど経験豊富ですまだ物足りない気がします。 ・市民がまちづくりに参加しやすい体制づくり。		・〇〇大学 芸術、林業、農業の体験-西郷 ・生きがいづくり 健康寿命を延ばす。明るく地域づくり、絆づくり。住民の交流グループ活動の強化-西郷 ・産校・学校を利用したDIYの場提供「工具レンタル」で完成品は売れ、人が集まる-上北条	・地域づくりにも、人づくりが必要である。地域リーダー、コーディネーターできる人を養成することが必要である。 ・人材育成強化は重要視しており、6次産業化、地域活動等のキーマンの総数を増やしていく必要がある。 ・看護大学には27人の教員がおり、講師役ができる人材である。 ・人材バンクや、鳥取大学との連携により高齢者の活躍できる機会の充実。シニア世代の得意分野と地域課題のマッチングにより、リーダーをそ					総合政策課 地域づくり支援課 保健センター 生涯学習課	地域の専修学校・大学等と地元企業等が連携・協働して、各地域の人材ニーズに対応した人材育成のための教育プログラムを開発し、今後、地域づくりを担う人材育成を進める。看護大・短大による養成講座を開設し、「まちの保健室」の推進や地域課題への取組の中心となる人材を養成する。 人材は養成する。 講師役ができる人材がある。 ・人材バンクや、鳥取大学との連携により高齢者の活躍できる機会の充実。シニア世代の得意分野と地域課題のマッチングにより、リーダーをそ	する	H27～H31	1,500	新規	市民	養成講座開催回数 0回 コミュニティ師範認定者数 0人 コミュニティ師範活動回数 0回	養成講座開催回数 75回 コミュニティ師範認定者数 150人 コミュニティ師範活動回数 150回	窓口-総政看護大学と連携した健康づくりの推進	

総合戦略掲載施策関係意見集約表

項目No.	基本方針	戦略を構成する施策 ※印は骨子記載の主要な施策の柱、中点印は骨子記載のもの、赤字は市民提案等によるもの	市民意識調査結果	子育てアンケート結果	市民対話集意見	一対話集での市長コメント	部会との関連意見	青年団体提案	青年団体提案に対する市長コメント	男女共同参画の会	パブリックコメント(アイデア募集)	担当課	事業概要(具体的な施策)	戦略掲載可否	実施期間	事業費(千円)	予算措置状況(新規・継続・拡充)	対象者	(業績評価指標) H26年度時点	(業績評価指標) H31年度時点	備考	
63	ひとづくり	00代のビジネスプランコンテスト実施事業			・コンビニと提携した地元農産物販売など、新しいビジネスの創造。高度な栽培技術の継承 ー上北条	・大きな勢力である高齢者の皆さんが地域の中で活躍し、元気に暮らして頂ける、そういう地域づくりが必要。ー北谷						生涯学習課	定年退職した方や、年齢の農業生産者などを対象に、培った技術や知識を活用したビジネスプランのコンテストを実施し、年配の方の退職後の活躍を応援する。	しない			UJJファン希望者			(商工課)60代に限定せず実施することができないか。市外の方への宣伝		
64	しごとづくり	安定した雇用基盤の整備					・起業者も含めての雇用ということで、企業誘致だけの問題ではなく、色々なツールを使っての取り組みを通じて雇用の増につなげていきたい。ー明倫 ・職場の創出、確保(農業も含めて)						・事業化支援/サポート体制作り ・倉吉に居住すれば安心して雇用の場が確保される思い切った施策がないか、市民に問うてみる(全市民に対してアンケート調査等)									
65	しごとづくり	圏域の地域経済の活性化及び雇用機会の拡大を図る企業支援事業	・正職員として雇用してもらえる会社が少い。企業支援とサポート体制の充実をお願いしたい。 ・企業誘致で人口減少対策を(特に若者の流出を減らす)。 ・雇用対策・多様な業種・ITの誘致・中部全体で、農業関連、加工流通・特色ある、魅力的な。専門的な企業 ・働く場所の確保-上小鴨		・稼げる農業・産業・職人、補助金/ブランド化、もちろんぶ/産/かるさと納税/農業とクリエイティブな職業の人をつなげる/外とのパイプがある人を市が雇うー明倫 ・首都圏アンテナショップー北谷 ・新規雇用の確保/雇用の安定、起業誘致、専任雇用の推進/労働者派遣法の改正(廃止)ー全国市長会ー西郷	・特産品、花やしいだけ、新幹線と合わせた特産品を作って、ブランド化していく。ー北谷 ・学生の就職支援として働く場の確保と併せて、若い人達にいかして地元で定着してもらうか大事なテーマ。ー西郷	・雇用の創出が必要。雇用の創出には、企業誘致、創業・開業、ビジネスマッチングを含めたところで向からの施策が必要と考えている。			・社会コミュニティで子育て、介護を支える仕事 ・オムロン/歳の会社を誘致 ・教育に親の収入が影響する	商工課	企業ニーズ把握に努めながら、企業立地促進補助金制度、制度融資など各種支援策の提供により、既存企業の経営基盤の強化・安定化、雇用機会の拡大に向けた支援。また、バランスのとれた企業誘致、既存企業の継承支援、既存企業の成長支援を実施。また、女性活躍による雇用者数に応じた支援を行う。助成/支援	する	H28～		継続						
66	しごとづくり	倉吉出身者(特に大学卒業時)への倉吉にある事業所への就職促進(案)ローカル就職フェア										商工課	大学、高校などとも連携した倉吉市近郊の企業による就職フェアお盆など長期休み前後の開催就職フェアの仕組みつくり/PR	しない						県の定住機構が既に実施しており、市としては実施しない。		
67	しごとづくり	ハローワークと連携した市役所でも閲覧可能な就業情報発信事業	・Uターンの促進、就職先など教育費/企業のPR/情報が欲しい社		・企業のPR・情報が欲しい社							商工課	・資格、職・教職むずかしい、空気がない ・情報発信/HP、マスコム、トップセールス、外部からの目	する	H28～		継続	市民				
68	しごとづくり	F-Bizの協力による相談会と相談のレベルアップを図る経営相談等推進事業			・農業とクリエイティブな職業の人をつなげる/外とのパイプがある人を市が雇うー明倫	・「倉ビズ」的な新しい形をつくっていただきたい。 ・既にある「F-Biz(富士市発のビジネス支援センター)」に少し変化を加えた展開を、この場で行ってほしい。 ・企業誘致、創業・開業、ビジネスマッチング ・相談体制の構築についても、早く取り組んでほしい ・「全国トップレベルの経営相談会を開催する経営相談等推進事業」						商工課	新市場の開拓、事業拡大、経営の課題解決、起業について公的支援機関や専門家とのネットワークを構築。それらを活用しての、相談受け付けや、各種のセミナーを紹介することで、産業支援を図る。 ネットワークの構築/人材育成 小規模事業者支援法に則った倉吉商工会議所の経営発達支援計画に基づく経営相談事業との連携を基礎に経営相談体制を構築する。	する	H28～		継続	市内事業者				
69	しごとづくり	成長産業の起業や事業継承を助言・支援を行う専門家集団の立ち上げ推進事業	・産業活性化 ・産業がない。 ・現代はサラリーマンが多く、企業家が少い。やりたい事が多く、技術をいっても取得出来る。例えば農業大卒の様に一般に門戸を開く(安価で学べる場所)。 ・独自性(オリジナリティ)のある産業づくりと育成にとりかかる。5-10年かけてでもこれらを育て産業の柱とする(今すでにそうだとと思われるものについては一層支援していく)。 ・企業誘致は全面的に負担ばかりで成功例は少ない。企業は積極的に支援。又既存の企業や農村家の発展に力を入れる。		・稼げる農業・産業・職人、補助金・事業者に対する支援(起業)ー明倫 ・上北条の農産物をローソンと提携して販売する。会社を立ち上げる/社員は住民/特産物(ブランド)をつくる/コンビニと提携して売り出す/農業を続けて、産物をつくる、後継者の育成ー上北条 ・従業員を増やす、既存企業の育成ー上小鴨 ・若い人が働ける場所が必要。若者ーなんでも挑戦。起業家ー高城	・「起業しやすい町づくり」。これはひとつの地域づくりの大きな力になると思うので、骨子の中にもここにかかる施策がいくつか入っている。改めて起業しやすい地域づくりに繋がるような取り組みを盛り込んでほしい。ー明倫 ・起業、あるいは在宅勤務が可能となる環境づくりも含め考えたい。製造業だけでなく、IT関係、あるいはアンテナショップとして起業し、雇用の場を確保する努力を促していく必要はある。ー西郷	・6次産業化などを事業化する際の金融支援策として、ファンドを活用した制度を構築しているところである。 ・「倉ビズ」による起業などへの支援を進める。特区申請による規制緩和を利用し、倉吉だからこそできる取組に繋がる。 ・起業支援という形を考えると、新たなビジネスが生まれるようであれば、融資制度といった形での支援が考えられる。				商工課	起業・事業継承しやすいまちをめざし、起業によるノウハウを持つ企業経営者等を金融機関による企業支援組織を立ち上げ、企業の事業継承を円滑に行える支援を行う。支援はアドバイスに留まらず、ファンド運用の資金面での支援も行う。これにより、事業継承や後継者問題を抱えた事業者等の円滑な事業継承を支援することにより、地域産業の競争力強化につなげるとともに、地域経済の活性化を目指す。また、投資先においても経営支援や販路開拓等の助言を受け、対象企業の支援を行う。対面型支援ファンド採択に向けての準備支援	する	H28～		継続	市民 市内事業者	起業と事業継承を分けて事業を行い、評価すべき ①起業については、中部4町と連携し、国からの認定を受けた。倉吉商工会議所、鳥取県商工会連合会、中部支店と連携し創業支援を行っている。 ②事業継承については県の事業継承支援センター				
70	しごとづくり	県内外の高度なスキルを持った人材や優秀な学生と市内企業のマッチングを図る企業人材確保支援事業	・若者の雇用創出による人口流出の防止を。地元雇用が継続して行われれば若者が定着し増加につながる。 ・「生産する企業誘致には何は置いても常に第一に取組み、実行あるのみ」 ・外部からの目線による「気づき」-上小鴨		・学生の就職支援として働く場の確保と併せて、若い人達にいかして地元で定着してもらうか大事なテーマ。ー西郷	・人口の観点から言うと、やはり雇用の創出は重要である。もちろんフィギュアなど企業誘致も大事だが、そればかりに期待するのではなく、人材誘致をしていくことが効果的なのではないかと考えている。 ・人口減少対策も大事であるが、そのためにも雇用の創出が必要。雇用の創出には、企業誘致、創業・開業、ビジネスマッチングを含めたことなど向からの施策が必要と考えている。						商工課	・企業が学生を対象に、資格取得のための資金援助等を行っても良いのではないかと、会社を知ってもらう機会にもなるし、会社が必要とする人材の確保にもつながる。 教育機関との連携によるインターンシッププログラムの受け入れ企業数の拡大・充実により市内企業と人材のマッチングを支援。また、継続的に学生や市外の人材と市内企業とがマッチングに向けて出会う機会を持つことでの仕組みづくりを実施。 インターンシッププログラム先企業の確保/プログラム内容の充実/マッチングに向けた仕組みづくり					(商工課)鳥大との連携で対応。				
71	しごとづくり	高齢者が住みよい街日本一のシニアビジネスの促進事業	・高齢者が住みよい地区にする(高齢化率が高い。最高49.23%)。店、病院に近いので移動手段を確保、無関心にならず声をかける。ー北谷 ・健康づくり マインドバーで健康情報、看護大の活用ー西郷 ・働く場の確保、高齢者の移住、高齢者向けケアハウス、市民農園を提供し移住を促すー上北条 ・雇用・高齢者の認知症の予防、元氣な高齢者づくり。-小鴨 ・高齢者に優しい場、イベントの開催-上北		・高齢者の健康づくりというのは大事なポイントになると思う。健康づくりのメニューや健康づくりやスポーツ活動の場所を提供したり。ハードとソフトを上手く使い分け、自治体で行っている健康志向プロジェクトみたいな健康チェックもしながら健康づくりに繋げていく、そんな仕組みができないか考えていきたい。ー明倫	・日本の業種別で言うと、現在の成長分野はITだが、高齢者福祉となることが予想される。よって、高齢者福祉に焦点をあて、高齢者に対して優しい町にすれば、雇用も増えるのではないかと。 ・後継者がいないことが問題。求人を出してもなかなか応募がない状況だが、幹部や役員候補について、行政の信頼を持ってビジネスマッチングすることもある。ー明倫 ・日本の業種別で言うと、現在の成長分野はITだが、高齢者福祉となることが予想される。よって、高齢者福祉に焦点をあて、高齢者に対して優しい町にすれば、雇用も増えるのではないかと。	・高齢者も忙しい(65歳までは働く)				総合政策課 商工課 長寿社会課	地域包括支援センターを核に、福祉サービスや保険サービス、医療サービスなどの関係機関やNPO等との連携による包括的な地域生活の支援体制づくりを進める。 介護・医療現場の改善をめざし、看護大と連携した福祉用具や介護ロボットの普及促進を行う。 支援体制づくり/PR	する	H27～H31	500	継続	医療・介護関係者など	市民意識調査の「高齢者も安心して暮らせると思う市民の割合」は64.3% 福祉用具、介護ロボット購入施設数 5件	市民意識調査の「高齢者も安心して暮らせると思う市民の割合」が70%を目標 福祉用具、介護ロボット購入施設数 5件	介護ロボットなどについては、総合政策課と協議して検討する。		
72	しごとづくり	地元大学と連携した修学から雇用まで一貫した医療・介護人材の育成・確保事業	・若者が地元で就職でき人口流出を防げる事が出来る様。 ・医療も人口が減少してはならない。 ・老人が集まればその周囲には若者も集まります。例えば温泉を活用した医療施設等全国から1人1人を求めている人達を呼び込むこともできるのではないかと考えます。		・看護大の活用。ー西郷 ・看護大学生の定住促進、雇用のマッチング調査。個人病院で看護師不足を情報発信ー西郷 ・介護施設 住みやすさ(安心)ー開倉 ・教育のまちで学校支援ボランティア、職場体験、企業人による面接指導、人材育成、教員、職員の見、若手職員が勉強する場を-明倫	・後継者がいないことが問題。求人を出してもなかなか応募がない状況だが、幹部や役員候補について、行政の信頼を持ってビジネスマッチングすることもある。ー明倫 ・日本の業種別で言うと、現在の成長分野はITだが、高齢者福祉となることが予想される。よって、高齢者福祉に焦点をあて、高齢者に対して優しい町にすれば、雇用も増えるのではないかと。						総合政策課 長寿社会課 保健センター	地元大学などの教育機会と連携による教育がキュラムの充実により、市内の医療・介護のニーズに合った人材育成を支援。また、倉吉で育った人材の活躍できる雇用の確保とマッチングを支援。 人材育成/人材育成から雇用までのシステム確立	する	H27～H31	500	新規	学生	学生と雇用先のマッチング支援 0件	学生と雇用先のマッチング支援 20件	看護大学と連携した健康づくりの推進。総合政策課と協議して検討する。	
73	しごとづくり	80歳まで稼げる農林水産業の推進	・農業地域は大型農業だけではなく、小規模でもの最位までは働けるので高所得でなくとも個性をだし、生き生き暮らせる環境でありたい。 ・Uターン者を呼び込む農林水産業の活性化政策 ・農業政策の更なる拡大をお願いします。 ・定年退職者へ(中高年の働ける職場作り)今まで経験した事が活かせる様に会社への雇用を充実させてほしい。 ・高齢者の雇用促進として、フルタイムではなく、短時間労働の職種、企業																			
74	しごとづくり	6次産業化に向けた推進員による商品開発支援や異業種連携創出事業	・おいしい農産物を知恵とアイデアを結集し、これぞという逸品を製品化し、世に出す。農業が栄え、雇用が生まれ、町が有名になる様な特産品を作る。		・A級グルメ、高級を育てる。市が審査員による認定/食べ物の名物を作る/職人の認定制度/市が三つ星を出す認定制度をつくる。ー成徳 ・食べたい産物の育成。農業だけでなく食っていく(特色ある取組み)ー専攻でも暮らせる/地元大学を提携しながら農業・工業の新事業を起す。ー上郷	・ブランド化、栽培の技術、職安での人材確保、地域産業への支援など、農山村の風景を守るためにも農業振興と関わって、稼げる農業の進捗をしっかりと考えていきたい。ー上北条 ・儲かる農業の確立。安定した収入が得られる/6次産業化することにより儲かる/雇用が増えるー開倉 ・農業を支援する、いのしを駆除する。自衛隊にやらせる/無銃の維持に支援する/いのしし牧場をつくるー高城 ・良いものを食べてもらい、農産加	・6次産業化などを事業化する際の金融支援策として、ファンドを活用した制度を構築しているところである。 ・JAとしては、今後イチゴを重要品目とし、目玉施策としたい。イチゴは、価格が安定しており、需要が供給から得られる。6次産業化することにより儲かる。ー開倉 ・農業大学校と協働するなどして、6次産業化に力を入れ、付加価値を持たせブランド化の仕組みを作っていく。					農林課	新しい食品加工商品の開発や、既存商品の改良による付加価値向上のための取り組みへの支援。またそのための推進員の設置。 商品開発や商品改良のための助成/人材育成	しない								既存制度の活用

総合戦略掲載施策関係意見集約表

項目No.	基本方針	戦略を構成する施策 ※印は骨子記載の主要な施策の柱、中点印は骨子記載のもの、赤字は市民提案等によるもの	市民意識調査結果	子育てアンケート結果	市民対話集会意見	一対話集会での市長コメント	部会との関連意見	青年団体提案	青年団体提案に対する市長コメント	男女共同参画の会	パブリックコメント(アイデア募集)	担当課	事業概要 (具体的な施策)	戦略掲載可否	実施期間	事業費(千円)	予算措置状況 (新規・継続・拡充)	対象者	(業績評価指標) H26年度時点	(業績評価指標) H31年度時点	備考
75	しごとづくり	・地域の特産品の拡大に向けた新商品(梨、スイカ、イチゴ等)のブランド化、生産拡大事業			・上北条の農産物をローソンと提携して販売する。(高齢者の小遣い稼ぎ)/会社を立ち上げる/社員は住民/特産物(ブランド)をつくる/コンビニと提携して売出す/農業を続けて、産物をつくる/後継者の育成-上北条 ・A級グルメ、高級を育てる。市が審査員による認定/食べ物の名物を作る/職人の認定制度/市が三つ星を出す認定制度をつくる。-成徳	・仕事確保について、特に地域性があって儲かる農業を作るためには特産物を作って、ブランド化していくことも大事。 ・最近製でも非常に評価の高い梨も出てきていてブランド化が必要かなと思います。-西郷 ・ブランド化、栽培の技術、職安での人材確保、地域産業への支援など、農山村の風景を守るためにも農業振興と関わって、稼げる農業の進捗をしっかりと考えていきたい。-上北条	・農産物/地元にある素材を磨くしかない。強い農業、異常気象が常態化してきている。関係研究機関と連携して災害に強い作物、品種、災害に強い農業機械の開発。地域に合った作物の集積栽培、そして発信、販路の確保。				・農業/地元にある素材を磨くしかない。強い農業、異常気象が常態化してきている。関係研究機関と連携して災害に強い作物、品種、災害に強い農業機械の開発。地域に合った作物の集積栽培、そして発信、販路の確保。	農林課	ハウス整備、耕作促進による土地利用向上による施設園芸や市の拠点を図る。計画的な安定出荷により農業所得の安定化を目指す。JAを中心とした企業とのイチゴ栽培施設整備、栽培手法の指導。 インフラ整備・PR・人材育成	する	H27~H31	100,000	継続	生産農家等	イチゴ生産農家数 3経営主体	イチゴ生産農家数 ●継続	既存制度の活用あり
76	しごとづくり	・ふるさと納税/贈り物による特産品の充実			・仕事の確保。農業 梨・ネギなど。PRをしてもらう/首都圏アンテナショップ/ふるさと納税の贈り品-北谷 ・稼げる農業・産業・職人。補助金/ブランド化/もやしや/宣伝/ふるさと納税/農業とクリエイティブな職業の人をつなげる/外とのパイプがある人を市が雇う-明倫 ・強力かつ有効的なPRの展開。本	・倉吉産の、質の高い農産物(リンスメロン等)を外へ発信していくPR力が弱いと感じているが、発信力が高まれば、収入も増加し、やりがいにつながっていく。 ・良いものを食べてもらい、農産加工品を作り、ブランド化して全国に発信する。 ・エンデュージャーへの訴求が弱い。ブランド化を図ろうとしている。	・倉吉産の、質の高い農産物(リンスメロン等)を外へ発信していくPR力が弱いと感じているが、発信力が高まれば、収入も増加し、やりがいにつながっていく。 ・良いものを食べてもらい、農産加工品を作り、ブランド化して全国に発信する。 ・エンデュージャーへの訴求が弱い。ブランド化を図ろうとしている。				・ふるさと納税/県外に出て行った人が倉吉にどう貢献してくれるかも考える必要がある。 「倉吉ふるさと市民」はふるさと納税を、倉吉市住民になれば優遇税制を/高齢者があんしんして暮らせる社会づくり ・都会に住む倉吉ふるさと市民としてふるさと納税を行い倉吉の税収を支える。	総合政策課	ふるさと納税/県外に出て行った人が倉吉にどう貢献してくれるかも考える必要がある。 「倉吉ふるさと市民」はふるさと納税を、倉吉市住民になれば優遇税制を/高齢者があんしんして暮らせる社会づくり ・都会に住む倉吉ふるさと市民としてふるさと納税を行い倉吉の税収を支える。	する	H27~H31	1,000	継続	特産品生産者	贈り品種類 約50種	贈り品種類 約100種	
77	しごとづくり	・海外も含めた戦略的な販路拡大促進事業	・海外へ向けてアピール。		・稼げる農業・産業・職人。補助金/ブランド化/もやしや/宣伝/ふるさと納税/農業とクリエイティブな職業の人をつなげる/外とのパイプがある人を市が雇う-明倫	「倉吉ズ」による起業家などの支援を進める。特区申請による規制緩和と併用し、倉吉だからこそできる取組に挑戦する。輸出に人財、事務的・金融的支援を行う。中心市街地活性化策として、赤瓦を導いた新興業に対して補助金、賃料に優遇を付与。せ、「日本ではいば、日本らしいまち」を目指すなど。 ・ブランド化により輸出を拡大させ、農家に利益が落ちる仕組みにする必要があると思う。また、「オーガニック」を売り、健康、観光、健康、観光と関連して複合効果が期待できる。 ・輸出には規制があり、簡単に個人が輸出できない状況である。倉吉の良さを海外に発信しながら、海外のものを取り入れることは重要であるため、輸出入に関する知識を習得するために支援が必要である。 ・市内に農産加工施設はあるのか。施設も大事だが、販売ルートも確保	・倉吉産の、質の高い農産物(リンスメロン等)を外へ発信していくPR力が弱いと感じているが、発信力が高まれば、収入も増加し、やりがいにつながっていく。 ・6次産業化の成功に向けて、デザインの磨き上げと、ストーリー性をどう持たせていくかが第一になっている。 ・情報では、「智頭杉」として木材のブランド化がされているが、倉吉にはそのようなブランド材がない。しかし、倉吉地域(市4町)では、森林が森林認証を受けている。今後、公共施設などの産産材使用など需要を創出して、倉吉産材として売り出していく。 ・ブランド化により輸出を拡大させ、農家に利益が落ちる仕組みにする必要があると思う。また、「オーガニック」を売り、健康、観光、健康、観光と関連して複合効果が期待できる。 ・市内に農産加工施設はあるのか。施設も大事だが、販売ルートも確保することが重要。うまく付加価値をつける。 ・良いものを食べてもらい、農産加工品を作り、ブランド化して全国に発信する。	・海外での知名度も低いのが、国内での知名度もまだ低い。PRによって、努力を続けていきたい。鳥取県民は、PR下手といわれているが、果とも協力して頑張っていきたい。 ・PRのポイントは、良いところを伸ばしていくことだと思う。 ・市のPRとして、誘致企業のグッドスマイルカンパニーと協力しながら、市のイメージキャラクター「くすけん」を活用したPRを考えている。	農林課 商工課	鳥取県やJA鳥取中央をはじめとする関係機関との連携のもと、倉吉ブランドの積極的なPRを推進し、販売ルート確保・拡大するための取り組みを強化。また、外国を視野に入れた販路開拓の検討実施(中国高裕層をターゲットとした梨の運送強化/PR/販路開拓)	する	H28~H31	3,700	継続	市内事業者	海外販路開拓 0件	海外販路開拓 1件	ジェトロとの連携を強化する			
78	しごとづくり	・優れた地元食材の周知と活用を図る「食」のブランド開発事業	・海外へ向けてアピール。 倉吉産農産物/海産物のブランド化 倉吉のB級グルメの様な名物をつくる。ラーメン横丁の様に店を集めて人が集まる町づくり。 農産物の加工に知恵とアイデアを結集し、これぞという逸品を製品化し、世に出す。産業が栄え、雇用が生まれ、町が有名になる様な特産品を作る。		・稼げる農業・産業・職人/宣伝/外とのパイプがある人を市が雇う-明倫 ・農業 梨・ネギなど。PRをしてもらう/首都圏アンテナショップ/-北谷 ・専業農家でもかかる農業をアピール! 全国からやりたい人を呼び込む。-北谷 ・特産物をつくる-食べ歩きツアーをつくる/農産物:産梨スイカ、梨、柿、ブドウ、野菜、米(加工品)、-西郷 ・上北条の農産物をローソンと提携して販売する。/ブランドをつくる/農業を続けて、産物をつくる/後継者の育成-上北条 ・A級グルメ、高級を育てる。市が認定/食べ物の名物を作る-成徳 ・特産品(付加価値)地ビール等。資産地消す。/地のものを使う、雇用する。 ・高城 ・産業振興/地区基盤は農業、ブランド品がある/ブランド化により収入が増える/収入が増えれば人口増える-Uターンが増える。夢が持てる。-社 ・仕事・生計の立つ農業/-社 ・梨は小増-上小 ・農業/倉吉の強みは農業、売る力を持つ事が大事-上井	・仕事確保について、特に地域性があって儲かる農業を作るためには特産品を作って、ブランド化していくことも大事だと思う。地域の産業をいかに確保するかというところは、若者定住にとっても大事。地方創生でも仕事、雇用の確保は一番大きなテーマになると思っている。認定農業者の要件緩和も必要じゃないかというご提案もあった。-北谷地区 ・農産物の食べ歩きツアーやブランド化というのが大事なポイントになっている。日本が一番おいしいスイカからいうことで産梨スイカをテレビで取り上げていただいた。ブランド化というのは最近製でも非常に評価の高い梨も出てきていてブランド化が必要かなと思います。-西郷 ・ブランド化、栽培の技術、職安での人材確保、地域産業への支援など、農山村の風景を守るためにも農業振興と関わって、稼げる農業の進捗をしっかりと考えていきたい。-上北条	・倉吉産の、質の高い農産物(リンスメロン等)を外へ発信していくPR力が弱いと感じているが、発信力が高まれば、収入も増加し、やりがいにつながっていく。 ・6次産業化の成功に向けて、デザインの磨き上げと、ストーリー性をどう持たせていくかが第一になっている。 ・情報では、「智頭杉」として木材のブランド化がされているが、倉吉にはそのようなブランド材がない。しかし、倉吉地域(市4町)では、森林が森林認証を受けている。今後、公共施設などの産産材使用など需要を創出して、倉吉産材として売り出していく。 ・ブランド化により輸出を拡大させ、農家に利益が落ちる仕組みにする必要があると思う。また、「オーガニック」を売り、健康、観光、健康、観光と関連して複合効果が期待できる。 ・市内に農産加工施設はあるのか。施設も大事だが、販売ルートも確保することが重要。うまく付加価値をつける。 ・良いものを食べてもらい、農産加工品を作り、ブランド化して全国に発信する。				農林課	安全・安心な倉吉ブランドへの基準見直し、制定。イメージアップや周知拡大、産地間競争力の高い売れる農産物の確保に取り組み。 ブランド基準の確立/PR	する	H27~H31	2,500	新規	生産者・事業者	ブランド基準の確立数 0件	ブランド基準の確立数 5件		
79	しごとづくり	・ファーマーズマーケット整備などマーケティング強化と販路拡大の推進事業			・首都圏アンテナショップ/ふるさと納税の贈り品-北谷 ・儲かる農業。特産・花・シイタケ/野菜パック販売/農地オーナー制度-北谷 ・空き店舗を活用して(記念館、チャレンジショップ)/朝市をやる-上北条 ・農業で生きる。ブランド化/若人(めずらしいもの、鮮度を活かす)/土地の提供/栽培の技術を教える/方法を工夫する。-コーディネーター、宣伝、広報、流通方法-上北条	・地方創生予算に計上している。「全国トップレベルの経営相談会を開催する経営相談等推進事業」、「職業情報提供、空き店舗マッチング支援、市内事業者の販路開拓支援」を行う地域産業活性化推進事業については、私たちの会でも進めているが、協働を進めていきたい。 ・エンデュージャーへの訴求が弱い。ブランド化を図ろうとしている。	・地方創生予算に計上している。「全国トップレベルの経営相談会を開催する経営相談等推進事業」、「職業情報提供、空き店舗マッチング支援、市内事業者の販路開拓支援」を行う地域産業活性化推進事業については、私たちの会でも進めているが、協働を進めていきたい。 ・エンデュージャーへの訴求が弱い。ブランド化を図ろうとしている。				・顔の見える距離での生産者と消費者で、安心・安全に加えて農産物が売られるまでにある背後のストーリー性を加えた販売計画の立案。健康農園や農業体験プログラムなどの観光商品としての農産物の活用。 マーケティング戦略検討/観光としての農産物活用	する	H28~H31	-	継続	農林水産業者、消費者	直売所の販売金額(JA鳥取中央管内) 458,876千円	直売所の販売金額(JA鳥取中央管内)(JA鳥取中央管)が設定)			
80	しごとづくり	・倉吉のシティPR強化を促進	・最近では明倫地区の「メイレーン」はちみつや、小川漁道の建物など新たにPRできるものが増えてきた。「倉吉にしかない特別な物」をもっとアピールするべき。くらすけんは上手に活用する。 倉吉市の良いところを日本中にPRすべき。季節ごとの美しい自然や、整備された街は他市にも負けないと思う。 「アザレアのまち」として美しい景観、文化的な交流のある賑やかな街、農村文化、ウォーキング、山登り		・倉吉市のアピールを全国に発信。-北谷 ・地盤が少なく、安全面を考えても良い。いいアピール材料になるのでは。-上北条 ・祭りなど開催するよう情報発信。埋もれている資源の情報発信-成徳 ・移住者にPRする(対話集会に参加し話し合う)/-関金 ・魅力をつくりあげていってメディア発信していくことも大切。-上郷 ・倉吉のDIY/所もつとPRする様になる。-高城	・子育てしやすいまちとしてアピール。 倉吉市としては高齢者で地方に移住したい方に、倉吉市を選んでいただくよう情報発信も含めていきたい。-上北条	・倉吉市の知名度が低すぎると感じ。もって露出して、市の知名度を上げてはどうか。 倉吉市は治安が良いその辺りを強みに、PRを行ってはどうか。 鳥取県では、若者や帰省客に向けて頑張っていきたい。 市のPRとして、誘致企業のグッドスマイルカンパニーと協力しながら、市のイメージキャラクター「くすけん」を活用したPRを考えている。 テレビCMは、市街地並みでは難しいが、県とも話し合いながら検討	・市政のPRについては、不十分な点も多いかと思うが、現時点では市報、CATV等を通じてPRを行っているところ。 海外での知名度も低いのが、国内での知名度もまだ低い。県とも協力して頑張っていきたい。 市のPRとして、誘致企業のグッドスマイルカンパニーと協力しながら、市のイメージキャラクター「くすけん」を活用したPRを考えている。 テレビCMは、市街地並みでは難しいが、県とも話し合いながら検討	総合政策課 観光交流課 関西事務所	インターネットやパブリックコメントなどのメディアを活用した情報発信の充実、旅行会社へのセールスプロモーションの推進、更に映画・テレビのロケーションの誘致などを実施。 観光大使の積極的な活用 くすけんの活用(LINEスタンプ) 関西エリアでのPR	する	H27~H31	2,500	拡充	観光客	観光客入込数 137万人	観光客入込数 150万人				
81	しごとづくり	・ゲンザケ養殖、薬用作物、竹活用など中山間地産業の活性化事業			・地域素材を活かしたビジネスの創出。竹炭や竹チップなどを作る。荒廃した山林を整備することになる。-上北条 ・関金の特色を生かす。山村・農業-起業化、集約化/温泉/自然-区別化/竹の加工-関金 ・地域資源の活用。農地、林池の維持/魅力ある産業の実現/儲かればやる人がいる-高城 ・竹活用で環境保全と産業化-上小	・竹水自体は非常に有効な資源であると認識している。なので、竹林整備と商品化が繋がれば良いと思っているところ。 「農地」については、耕作放棄地を飲食店などのニーズに合わせた活用をすすめている。「ブランド化」については、倉吉の食(農産物)などの6次産業化に力を入れる。「空き家」については、地域活動の拠点として新たな役割を見出している。「再生エネルギー」については、地域規模に合った無駄の少ない循環型のエネルギー利用を考えている。 ・林業従事を希望する移住者の受け入れなどの進めていきたい。 木材の需要は、建材以外にも再生可能エネルギーとしての需要が高まっており、今後の傾向が継続する	・「農地」については、耕作放棄地を飲食店などのニーズに合わせた活用をすすめている。「ブランド化」については、倉吉の食(農産物)などの6次産業化に力を入れる。「再生エネルギー」については、地域規模に合った無駄の少ない循環型のエネルギー利用を考えている。 ・林業従事を希望する移住者の受け入れなどの進めていきたい。 木材の需要は、建材以外にも再生可能エネルギーとしての需要が高まっており、今後の傾向が継続する				農林課	地域資源を新たな産業分野として活性化につなげる。例)竹林環境面で活用した木質系バイオマス発電などの基礎調査を実施して、産業化が可能かどうかを研究。発電、熱利用、燃料化など、エネルギー関係の産業化を研究。調査・研究	する	H27~H31	-	新規	農林水産業者	地域資源を活用した新たな産業化数 1件	地域資源を活用した新たな産業化数 5件		
81.5	しごとづくり	木質バイオマス等再生可能エネルギー活用支援			・地域素材を活かしたビジネスの創出。竹炭や竹チップなどを作る。荒廃した山林を整備することになる。-上北条 ・関金の特色を生かす。山村・農業-起業化、集約化/自然-区別化/-関金 ・地域資源の活用。農地、林池の維持/魅力ある産業の実現/儲かればやる人がいる-高城	・「農地」については、耕作放棄地を飲食店などのニーズに合わせた活用をすすめている。「ブランド化」については、倉吉の食(農産物)などの6次産業化に力を入れる。「再生エネルギー」については、地域規模に合った無駄の少ない循環型のエネルギー利用を考えている。 ・林業従事を希望する移住者の受け入れなどの進めていきたい。 木材の需要は、建材以外にも再生可能エネルギーとしての需要が高まっており、今後の傾向が継続する	・「農地」については、耕作放棄地を飲食店などのニーズに合わせた活用をすすめている。「ブランド化」については、倉吉の食(農産物)などの6次産業化に力を入れる。「再生エネルギー」については、地域規模に合った無駄の少ない循環型のエネルギー利用を考えている。 ・林業従事を希望する移住者の受け入れなどの進めていきたい。 木材の需要は、建材以外にも再生可能エネルギーとしての需要が高まっており、今後の傾向が継続する				環境課 農林課	豊富な森林資源を活かした木質バイオマスなどの自然エネルギーの事業化に向けた具体的な活用方法について調査研究を行う。特に、木質バイオマス発電及び木質チップボイラー等の事業化に向け、関係課をはじめ事業者等市内のポテンシャルについて調査研究を行う。また、事業者へ周知を行い産業としての事業化について支援を行う。	する	H27~H31	400	新規	自然エネルギーの導入に取組む事業者	自然エネルギーの導入に取組んでいる事業者数:5件(太陽光発電等)	自然エネルギーの導入に取組んでいる事業者数:8件		

総合戦略掲載施策関係意見集約表

項目No.	基本方針	戦略を構成する施策 ※◆印は骨子記載の主要な施策の柱。中点印は骨子記載のもの。赤字は市民提案等によるもの。	市民意識調査結果	子育てアンケート結果	市民対話集会意見	一対話集会での市長コメント	部会関連意見	青年団体提案	青年団体提案に対する市長コメント	男女共同参画の会	パブリックコメント(アイデア募集)	担当課	事業概要 (具体的な施策)	戦略掲載可否	実施期間	事業費 (千円)	予算措置状況 (新規・継続・拡充)	対象者	(業績評価指標) H26年度時点	(業績評価指標) H31年度時点	備考		
82	しごとづくり	戦略を構成する施策 ※◆印は骨子記載の主要な施策の柱。中点印は骨子記載のもの。赤字は市民提案等によるもの。	・1年・1週間を可能にする為、仕事の短縮、後継者作り、農業の再生です。鳥取県は全国でも最も人口の少ない県です。その中で生活するためには農業を仕事として生活できる環境が必要だと思います。関連で2014年度に国際家族農業(？)を提唱しています。持続可能な農業が必要です。		・農業の移住-北谷 ・民間住宅宅、農林業を支援する方の移住を支援-北谷 ・認定農業者の条件を緩める。補助金の交付-北谷 ・農業に魅力を感じる若者や退職者を呼び込む-畜産 ・農業で食べれる地域をつくる/空家をリフォームして住んでもらう。/ITを使った農業-上北条 ・移住による農業振興(県外の人、外国人)/起業の支援(市民と事業者の仲立ち)/財政支援-上北条	・ブランド化、栽培の技術、職安での人材確保、地域産業への支援など、農山村の風景を守るために農業振興と関わって、移住の農業の進捗をしっかりと考えていきたい。-上北条	「篤農家技術指導推進事業」について、新規就農者の技術指導支援については、とても良い施策だと感じている。だが、新規就農予定者についても支援できれば。				若者にこだわらない、高齢者の呼び込み、空家、耕作放棄地を利用して、定年退職者を第一に誘い込む。60代が集まれば、子ども、孫も来るようになる。定住を希望する若者も出てくるだろう。元気な80代は地域華仕にも参加して欲しい。	農林課	これまで手伝い程度の農業従事者で定年を過ぎた方のうち本格的に農業を始める意思のある定年職能者を新たに支援するとしてとらえ、農業技術習などへ支援指導する。	しない	-	-	-	-	-	-	県立最大の活用により、県事業として対応		
83	しごとづくり	・格安農機具リース事業			・新規就農へのハードルを下げるための、格安による農機具リース。上北条							農林課	新規就農者や若い世代の農家の方に格安で農機具を貸し出すことにより、負担を減らすことを検討する。 施設提供/助成	しない	-	-	-	-	-	貸出用農機具の確保が困難で困窮であった			
84	しごとづくり	・ICT活用による有害鳥獣総合対策事業とジビエ販売先確保支援事業					・関金ハムの再開についてはぜひ実行したい。 ・ジビエについては、狩猟することは良いが、加工する施設が現在、中央管内では三期しかなく、搬送するにも遠い。「ジビエ販売先確保支援」の事業に絡め、市内に加工施設の建設も検討していただきたい。						農林課	イノシシの飼育事業者に対する飼育場整備やICT活用等の助成。鳥取県中部/シシ産業化プロジェクトを中心に有害鳥獣捕獲の推進と新たな産業の創出。ジビエの最終出口(捕獲、加工、販売)を確保することによる新たな産業創出。事業実施支援/販売先の確保	しない	-	-	-	-	県の既存事業などを活用して対応する。			
85	しごとづくり	◆にぎわい創出と観光業の振興	・観光が一つの大きな産業となると思います。								・倉吉市の打吹玉伝統的建造物群保存地区と大原町の高田林寺内町と広域に連携し、国内版姉妹都市のような取り組みを広げて、お互いの市が活性化したい。 ・成徳小を再編で廃止し、グラウンドを観光拠点として「観光交流センター(仮称)」を設置し、大物産館、大駐車場として整備する。 ・等枝の像のところに桜を植えてはどうか。桜の時期には、打吹公園の桜とともに等枝の桜も見られることを												
86	しごとづくり	・伝統的建造物群保存地区内の観光拠点施設整備事業	・赤瓦も観光客だけでなく地域の人が普段から買物、食事に利用できる街作りをお願いしたい。是非気軽に「おしやれ」なカフェを2~3軒作ってほしいです。「白壁土蔵」×「昭和」×「下北沢、吉祥寺」旧市街地、という街づくりをされてはどうか。 ・白壁土蔵群からさらに観光ゾーンを拡大し、市内の活性化に繋げる。 ・赤瓦周辺も「観光客の地区」にしないで地元の人達もリピートできる「普段着の町」にしてお店も拡散させて、そぞろ歩きが出来る町並みにする。		・「にぎわい」のある町にしたい。(観光資源の有効活用)。情報提供/観光ガイドの養成/住民への働きかけ(意識)/事業者に対する支援(起業) - 明倫 ・「にぎわい、集客施設の充実。スーパーマーケットをつくる/納米施設をつくる/レトロな「昭和の街」として(赤瓦・白壁土蔵群)倉吉市街地を売り出す/イベントの開催/企業誘致/地域リーダーの育成が必要(盛り上げる人)/河川敷など広場施設の整備・活用/夏まつりを毎年する		・小川邸の整備が進められると聞いているが、ここにも良い取組品がある。庭も素晴らしい。足立美術館のミニバージョンができるのではないかと。倉吉市の商家に良い美術品がある。これらの美術品コンテンツをもっと生かす必要がある。 ・倉吉市には赤瓦や白壁、古き良き商店街があり、この良さを活かしていければ良いと思う。				・観光/趣味グループを観光地区に集め(場所提供/作成作業見学、販売を観光資源とする。工芸科(工芸、木工、竹細工、革細工、手芸等)、竹のまち(現在ある竹に開くGPを構築して集積効果をねらう)、健康村(グラントゴルフ、ブルディックウォーク、ニュースポーツ等、高齢者が集まり易くなる)	総合政策課 観光交流課 文化財課	空き店舗等へのテナント誘致や観光客を呼びながら、歴史的景観と集積文化財等を活かして、伝統制度を活かしたまちづくりを行うことで観光客などの交流人口の増加を図る。 低額での空き店舗の提供/空き店舗を活用した出店や企業支援/PR	する	H27~H31	1,500,000	継続	建物所有者	店舗等整備 3軒 ※H26年度整備件数	店舗等整備 10軒 ※H26~31年度述べ数	伝達修理・修理事業3件。うち、空家から店舗等への改修は3軒)		
87	しごとづくり	・白壁土蔵群内の空き店舗のリノベーションを活用したカフェ・旅館等整備事業	・赤瓦も観光客だけでなく地域の人が普段から買物、食事に利用できる街作りをお願いしたい。是非気軽に「おしやれ」なカフェを2~3軒作ってほしい。「白壁土蔵」×「昭和」×「下北沢、吉祥寺」旧市街地、という街づくりをされてはどうか。 ・白壁土蔵群の周辺、もう一つ輪廓になりませんか。空家が多く、ポロポロになっているのも少し観光地らしく、すっきりとした街並み/せめて外景だけでもいいですか。		・「にぎわい」のある町にしたい。(観光資源の有効活用)。情報提供/観光ガイドの養成/住民への働きかけ(意識)/事業者に対する支援(起業) - 明倫 ・「にぎわい、集客施設の充実。スーパーマーケットをつくる/納米施設をつくる/レトロな「昭和の街」として(赤瓦・白壁土蔵群)倉吉市街地を売り出す/イベントの開催/企業誘致/地域リーダーの育成が必要(盛り上げる人)/河川敷など広場施設の整備・活用/夏まつりを毎年する - 上北条 ・中部に公共施設を、国際的な高校・大学 ・観光客を増やす、白壁土蔵を中心		・倉吉には赤瓦や白壁、古き良き商店街があり、この良さを活かしていければ良いと思う。	・岡山の間置町では、空き家を活用した若者が経営するカフェが立ち並び、活気があるように、倉吉でも白壁土蔵群周辺の空き家を活用した店舗展開などを行い、全国発信してはどうか。 ・白壁土蔵群周辺では、景観・美観の規制が厳しく、出店の際の空家の改修などが難しいと聞か、規制緩和などを行ってはどうか。			・赤瓦、白壁あたりを中心に今どきのカフェを作るとか、雑貨屋を集合させた一帯をつくる(例:松江のカラコロ工房) ・白壁土蔵は、「昭和の手作り工房」の集落があるように、特に地元産を意識せず、懐かしい駄菓子で良い、それらを観光客の目の前で作るということが重要。夜店、露店の空地への出店や、土日祝日の大道芸、平日の団体には予約制で、街角をおもちゃ箱への変身させる。 ・倉吉は里山八次伝など、物語にゆかりが深い。現代風に捉えて、アニメーションの街にしてはどうだろうか。舞台設定を倉吉にして、登場する場所の観光PRをする。パワースポット等をつくる。若い人がたくさん来るまちが理想。	総合政策課 観光交流課 商工課	空き店舗などを活用した出店、それに伴う基礎整備 助成/インフラ整備	する	H27~H31	10,000	拡充	事業者	リノベーションカフェ設置 0店舗	リノベーションカフェ設置 3店舗			
88	しごとづくり	・歴史や町並み活用したストーリー性のある観光商品造成事業	・土蔵群辺りをもっと活性化させる。互いにかぶる祭りや行事等を絶やさないよう独自性ある伝統を活性化につなげていければいいと思う。 ・歴史あるものを再発見して市を中心に守り、他へ発信して(市県の中産とつながるものを育てる)		・「にぎわい」のある町にしたい。(観光資源の有効活用)。情報提供/観光ガイドの養成/住民への働きかけ(意識)/事業者に対する支援(起業) - 明倫 ・「にぎわい、集客施設の充実。スーパーマーケットをつくる/納米施設をつくる/レトロな「昭和の街」として(赤瓦・白壁土蔵群)倉吉市街地を売り出す/イベントの開催/企業誘致/地域リーダーの育成が必要(盛り上げる人)/河川敷など広場施設の整備・活用/夏まつりを毎年する - 上北条 ・中部に公共施設を、国際的な高校・大学 ・観光客を増やす、白壁土蔵を中心		・小川邸にも良い取組品がある。庭も素晴らしい。足立美術館のミニバージョンができるのでは、倉吉市の商家に良い美術品がある。これらの美術品コンテンツをもっと生かす必要がある。 ・倉吉市には赤瓦や白壁、古き良き商店街があり、この良さを活かしていければ良いと思う。	・桜については、打吹公園だけでなく、松下谷や小川の桜が大きな。名所となりつつある。宴会をするような広場はないが、これらを結び付けて観光資源にできるようなことを検討したい。			観光交流課	今ある資源を活かし、生活の寄りのする古い町並み、懐かしさ、癒しなどのまちの風景を特化し、まさにストーリー性を持たせることで、「倉吉らしい」観光地づくりを目指す。地域資源の掘り起こしや年間を通じたイベント開催。 インフラ整備/ 出張支援/ イベントPR	する	H27~H31	700	拡充	観光客	観光客入込数 137万人	観光客入込数 150万人	観光振興において、現在まで里山氏、大坂定屋、りーを適用した手法は取り入れられてきた。今後、様々なコンテンツを活用した集客増の取り組みが期待できる。E「ひびいた」グッスマ			
89	しごとづくり	・農業・自然体験ツアー			・農業・自然体験ツアー-北谷 ・伝建群/農業体験/遊びの質の変化 ・レジャー型から体験型へ-上北条 ・交流(家族連れは良い例)/若い人を引き付けるイベント/都会の人の交流/農業ウォーキングなどの体験/自然とのふれあい/小中学校で地元のすばらしさを学ぶ-関金 ・地元の人達も楽しめる(観光) - 明倫 ・観光/公口桜みじも(打吹山活かす)ニーズに合わせたコース作り-小輪 ・地域づくりと歴史の伝承/子供が街を誇りにする様になる/角原ものがたりや河村ものがたりを作る-小輪		・「観光と農業のまち」など、観光と農業、文化などを関連付けたものを考えてほしい。 ・「体験型旅行誘致協議会」では、教育旅行に関してさらに取り組むターゲット、人数規模などを出していく必要があると考えている。						観光交流課 農林課	既存の施設を教育宿泊施設、自然学習施設、体験型観光施設として整備し、観光スポットを巡るだけの観光ではなく、体験型と独自のもの、人との触れ合いを前面に押し出した体験型旅行の推進。また、新規開業に向けた旅行業法、経営スタイル、サービス形態に関する相談・支援の実施。 受け入れ態勢整備/改修整備/PR	する	H26~H31	500	拡充	観光客	農業体験旅行参加者 600人	農業体験旅行参加者 1000人	自然体験ツアーは関金温泉旅館組合が既存宿泊施設において取り組んでいる	
90	しごとづくり	・とっとり製の花温泉郷広域観光協議会のDMOによる広域観光施策推進事業	・少子高齢化に歯止めをかけるのは難しいと思いますので、近隣の北条町や湯梨浜町との連携が重要ではないでしょうか。これら市町村合併するのは不可能とは思いますが、単独の市町での発展は非常に難しい時代になっていると思います。 ・市内の主要なバス停を早く4ヶ所増設にして下さい。又、主要な施設には無料WiFiを設置して下さい。バスの行先案内も4ヶ所増設を検討をお願いします。		・「にぎわい」のある町にしたい。(観光資源の有効活用)。情報提供/観光ガイドの養成/住民への働きかけ(意識)/事業者に対する支援(起業) - 明倫 ・「にぎわい、集客施設の充実。スーパーマーケットをつくる/納米施設をつくる/レトロな「昭和の街」として(赤瓦・白壁土蔵群)倉吉市街地を売り出す/イベントの開催/企業誘致/地域リーダーの育成が必要(盛り上げる人)/河川敷など広場施設の整備・活用/夏まつりを毎年する - 上北条 ・中部に公共施設を、国際的な高校・大学 ・観光客を増やす、白壁土蔵を中心		・「観光と農業のまち」など、観光と農業、文化などを関連付けたものを考えてほしい。 ・「体験型旅行誘致協議会」では、教育旅行に関してさらに取り組むターゲット、人数規模などを出していく必要があると考えている。	・「観光と農業のまち」など、観光と農業、文化などを関連付けたものを考えてほしい。 ・「体験型旅行誘致協議会」では、教育旅行に関してさらに取り組むターゲット、人数規模などを出していく必要があると考えている。				観光交流課	とっとり製の花温泉郷広域観光協議会を法人化し、旅行業登録により組織体制を安定化させることで、圏域版のDMOを整備する。 また、国内はもちろん、外国からの誘客を図るため、多言語化対応したマップや道標・看板、wi-fi等の観光基盤整備を行う。併せて多言語化対応したマップや道標・看板、wi-fi等の観光基盤整備する。	する	H27~H31	H27 8363千円	新規	観光客	中部地区の年間観光客入込数2,128千人	中部地区の年間観光客入込数2,200千人	製の花法人及び旅行業資格取得。 インバウンド受入体制整備 窓口拠点整備		
91	しごとづくり	・コンベンション等誘致支援やスポーツコンベンションプログラム開発事業	・各種大会を主催し県外からの選手参加を増やすことも観光の一助になるのでは。 ・スポーツ、文化、議会等々々、他県から人を呼び込んで倉吉市を活性化させていく。 ・未来中心の活用について、立派な施設があるの(各種の会議、大会等、諸行事を県内はもとより県外からも積極的に誘致し、倉吉のPR、賑わい、人との交流、物産販売に資してはいいがですか。		・「にぎわい」のある町にしたい。(観光資源の有効活用)。情報提供/観光ガイドの養成/住民への働きかけ(意識)/事業者に対する支援(起業) - 明倫 ・「にぎわい、集客施設の充実。スーパーマーケットをつくる/納米施設をつくる/レトロな「昭和の街」として(赤瓦・白壁土蔵群)倉吉市街地を売り出す/イベントの開催/企業誘致/地域リーダーの育成が必要(盛り上げる人)/河川敷など広場施設の整備・活用/夏まつりを毎年する - 上北条 ・中部に公共施設を、国際的な高校・大学 ・観光客を増やす、白壁土蔵を中心		・「観光と農業のまち」など、観光と農業、文化などを関連付けたものを考えてほしい。 ・「体験型旅行誘致協議会」では、教育旅行に関してさらに取り組むターゲット、人数規模などを出していく必要があると考えている。	・「観光と農業のまち」など、観光と農業、文化などを関連付けたものを考えてほしい。 ・「体験型旅行誘致協議会」では、教育旅行に関してさらに取り組むターゲット、人数規模などを出していく必要があると考えている。				観光交流課 生涯学習課	とっとりコンベンションビューローとの連携のもと、コンベンションの誘致・開催を進める。また、市内の運動施設の活用したスポーツコンベンションプログラムの開発も検討する。	する	H27~H31	47,000	継続	スポーツ愛好者、観光客等	新たに「合宿利用団体数・利用者数、誘致した大会数・参加者数」を調査する	合宿利用団体数・利用者数、誘致した大会数・参加者数			
92	しごとづくり	・オリンピック会場の「芝」活用検討事業										農工課 農林課 生涯学習課	鳥取県芝生精算指導者連絡協議会と連携し、倉吉の芝のPRを目的とした、芝生化シンポジウムや芝生PR事業、芝生化実証、芝生効果検証を公園施設や学校で実施することを検討する。 助成/協力体制/PR	する	H28~H31	未定	新規	関係施設管理者	ない 新たに「合宿利用団体数・利用者数、誘致した大会数・参加者数」を調査する	合宿利用団体数・利用者数、誘致した大会数・参加者数			

総合戦略掲載施策関係意見集約表

項目No.	基本方針	戦略を構成する施策 ※印は骨子記載の主要な施策の柱。中点印は骨子記載のもの。赤字は市民提案等によるもの。	市民意識調査結果	子育てアンケート結果	市民対話集意見	一対話集会での市長コメント	部会の関連意見	青年団体提案	青年団体提案に対する市長コメント	男女共同参画の会	パブリックコメント(アイデア募集)	担当課	事業概要(具体的な施策)	戦略掲載可否	実施期間	事業費(千円)	予算措置状況(新規・継続・拡充)	対象者	(業績評価指標) H26年度時点	(業績評価指標) H31年度時点	備考			
93	しごとづくり	観光企業と連携したポータルチャーターによる観光客等誘致促進事業	・円形牧舎を残し、全国初のフィギアの観光に生まれ変わらせる。 ・道内と結めた地域の盛り上げ方が良いが、フームに乗っているときは、今後飽きにくくするのは？ ・何かのアニメとコラボでしてみれば？ ・スポーツ、文化、語学講座等々。他県から人を呼び込んで倉吉市を活性化させていく。 ・企業誘致により若者の定住をはかってほしいと思います。 ・インターネット等、情報網を利用して倉吉市の良いところをもっと日本中にPRすべきと思う。		・まち歩きMAP、ガイドブック・産物・雇用の選択肢を増やす(企業に来てもらう)。企業に対して宣伝(強み・良さ)する。一明確 ・雇用の確保。企業誘致/既存企業の支援- 北谷 ・企業誘致。働く場UTターン増- 関金		・子供を産む世代が増えないと人口は増えない。ある程度の規模の企業誘致は必要だと考えている。その際には、市民に見えよう情報提供してほしい。 ・AIR(アーティスト・イン・レジデンス)※が開催されているとのだが、アーティストが倉吉の良さを発信すれば、行政が発信するよりも遠く地域に波及効果が生れると思う。 ・市内に素晴らしい取組品があるが、我々が見る機会がない。また、博物館については行き方の案内が不十分である。 ※国内外からアーティストを一定期間招へいて、滞在中の活動を支援する事業。	・地方創生についてはどのようなことが効果的だと考えている。	・人口保持のために、これまで企業誘致、移住定住などに取組んでいるが、人にもお金にも限りがある中で、優先順位をつけながら必要な施策をいって取組を進めている。		・WEB系の企業などは立地を問題にしない場合が多く、逆に維持費を抑えられる場所に転移するケースもあると聞きます。ネット上で事業が成立するので、従来の地方が不利という考え方には当てはまりにくいとも考えています。もしかすると、雇用も生み出せるかもしれません。	観光交流課 商工課 関西事務所	フィギア生産の拠点として、雇用の確保にとまらず、地元企業や地域と連携したポータルチャーターを活用した地域づくり。新たな観光客の増加とコラボ企画によるブランド力向上を図る。 また、既存のまち歩きmapの見直し。まち歩きmap改訂に向けてのニーズ調査とその結果を反映させた改訂版の作成とする。 ニーズ調査/マップの改訂	する	H27～H31	4,000	拡充	県内外観光客	中部地区の年間観光客入込数2,128千人	中部地区の年間観光客入込数2,200千人				
95	しごとづくり	倉吉発の食事処の発掘促進			・特産物をつくる一食歩きツアーをつくる/ 農産物・梅実スイカ、梨、柿、ブドウ、野菜、米(加工品) - 西郷 ・特産品をつくる/ 伝統を活かしたもの ・A級グルメ、高級を育てる。市が審査員による認定/ 食べ物の名物を作る/ 職人の認定制度/ 市が三つ星を出す認定制度をつくる。 - 成徳 ・魅力をつくりあげていてメディア発信していくことも大切。農業の町を		・良いものを食べてもらい、農産加工品を作り、ブランド化して全国に発信する。					観光交流課	観光に来て食事処が少ないとの意見もちらほらあり、「グルメな倉吉」を発信することにより、来訪者の増加と消費拡大を目指す。 地元高校・大学とマイス協会、商工連盟及び飲食店組合の連携により、グルメコンテストを開催し、定着に向けた行政支援を行う。	しない							既存の製の花主催の「白級グルメイベント」の活用により展開を図る。			
97	まちづくり	人が集い魅力ある地域づくり									・交通網の整備/地域の足としての交通網整備 ・県立美術館を倉吉(中部)に作る/ だが、現在の候補地では魅力がない/ 移ける美術館を誘導 ・自転車道の整備(サイクリングタウン倉吉)/健康推進の為に「サイクリングステーション」の整備が必要 ・軽自動車税の大幅減税・免税 ・地方創生で最も大事なのは「住民の満足度」 ・報道によると県は政府機関、独立行政、三法人の県内移転を提案している。市として意思を固め、県に貼りつき情報収集と提案をする。													
98	まちづくり	都市住民との交流と市内の子どもの地域学習の場として農家民泊と農業体験の受入拠点整備事業	・倉吉市の自然や環境を全国にアピールし子どもら来てもらえるようにしたい。 ・自然を利用した小・中・高校生への教育の場としての観光振興。 ・人工的な遊び場よりも山川海での遊び方を知らせたい。 ・農業を活かして人呼び込む ・子供に農業体験をさせる。成功者の話を聞かせる(授業の一環)。 ・朝市やフリーマーケットを盛んにする。	・地域の資源を活かすことも大事なポイント。「体験ツアー」は地域の特性を活かし、教育型の体験旅行で農家民泊も含めた取り組みも出てきている。この地域でもそういったものに取り組みるのではないかと感じている。 - 北谷	・若い世代(中・高生)に「倉吉」について考える機会を増やす。資料作成や魅力づくり - 明倫 ・農地と農業者の活用をする。 - 西郷 ・交流人口を増加させる。伝建群/ 農業体験/ 遊びの質の変化レジャー型から体験型へ - 上北条 ・青少年体験活動の拠点(旧山守小学校の活用) 民泊/ 農業体験 - 関金 ・若い人を引き付けるイベント、観客の人の交流、農業やウォーキング		・関金地区では、既に農家民泊などの活動がある。県外の子供たちと農家の交流が行われている。これに対し、倉吉地区の子供たちは対応しているか? 関金地区を知っているか? という疑問がある。倉吉地区の子供たちに、関金地区に来て体験してもらいたい。地元の子供たちが、地元を愛すること、倉吉市の良さを知ることが大事で、倉吉に帰ってこようとする子供たちを育てることになる。				観光交流課 学校教育課	「倉吉市体験型教育旅行誘致協議会」など関係団体と連携し、拠点先の確保とプログラムの充実を図り、県内外利用者を増やすとともに、市内小中学生にも体験させることにより、地元の魅力を伝える。拠点先確保/ プログラム充実	する	継続	5,000千円(県補助金2,500千円市補助金2,500千円)	拡充	県外学校	修学旅行誘致学校数	修学旅行誘致学校数	市内小学生への体験活動については、教育サイドの意向による。また、山守小学校の活用については、当該施設が社会教育施設に転用された場合に検討。				
99	まちづくり	倉吉駅前ファーマーズマーケット整備事業	・駅前旧経済連ビルや空き店舗の具体的な有効な活用方法の検討。 ・買い物をする場所を作る(倉吉全体でも上小輪でも) - 上小輪								・駅前に集いやすいスペース設置/鳥取・米子まで行かなくても買える魅力ある商店づくり	総合政策課 農林課	事業内容概要 - 県中部地域の玄関口にふさわしい、賑わいと交流の拠点として、ファーマーズマーケット設置による生産者、消費者間での顔の見える安全・安心な農産物の販売を促進。また、小規模農家・定年帰農者等の出向先としても対応する。 設備整備/ ファーマーズマーケットのシステム構築/ PR ⇒経済産業省補助金を活用し、市からの補助金は予定していない。そのため戦略掲載による交付金は使用しない。	しない	H27～H31	未定	新規	JA鳥取中央	なし	未定数	中心市街地活性化基本計画掲載経済産業省の補助金を活用予定			
100	まちづくり	空き店舗等を活用した子チャレンジショップ拡充事業	・空き店舗等が多くみられます。空きバンク制度の利用は少ないのではよか。 ・成徳・明倫地区の商店街に用事が出来、初めて行ってみましたが、若い人が新しいセンスで販売しておられた。もっと発信してアピールすれば良い。 ・駅前の旧経済連ビルや空き店舗の具体的な有効な活用方法の検討。 ・空き店舗を使って若者向けのチャレンジショップを作ってみても	・空き店舗を活用して(記念館、チャレンジショップ)/ 朝市をやる - 上北条				・チャレンジショップについては、古民家・空き家の活用などと併せて研究していきたい。			・若者にこだわらない。高齢者の呼び込み/ 空き家、耕作放棄地を利用して、定年退職者を第一に誘い込む。 ・周山の閑静な環境では、空き家を活用した若者が経営するカフェが立ち並び、活気があるようだが、倉吉市でも白壁土蔵群周辺の空き家を活用した店舗展開などを行い、全国発信してはどうか/ 伝統的建造物群などの規制については、具体的に提案があれば検討したい	総合政策課 商工課	空き店舗の修繕・改装など補助制度や管理のシステムの充実を図る。地域の人のために相手をするコミュニティビジネスの起業を支援することを目的としたサービスを強化するとともにビジネスに取り組み起業家・NPO法人などのネットワークづくりを進める。 助成/ 人材育成	する	H28-31	未定	拡充	開業希望者	チャレンジショップ数 3カ所	チャレンジショップ数 5カ所	チャレンジショップ増設検討			
101	まちづくり	女性向けコミュニティ施設兼食料品販売施設整備事業	・駅前の旧経済連ビルや空き店舗の具体的な有効な活用方法の検討。		・働く場を多くする。特に女性(福祉関係はない/ パートしかない/ 半分は女性なのに、家事育児が負担である) - 北谷						総合政策課 商工課	主に地産品を中心とした若年女性向けの商品を扱う店舗として、若年層の起業家を中心に募集を行い、若者による若者のための店づくりをコンセプトに若年層を中心とした集客を図る。また、コミュニティ施設としての利用も検討する。 助成/ 人材育成/ PR ⇒経済産業省補助金を活用し、市からの補助金は予定していない。そのため戦略掲載による交付金は使用しない。	しない	～平成31年度	未定	新規	紳士クラブ	なし	利用者数	中心市街地活性化基本計画掲載経済産業省の補助金を活用予定				
102	まちづくり	地域住民学生向けテナントビル整備事業	・駅前の旧経済連ビルや空き店舗の具体的な有効な活用方法の検討。								総合政策課 商工課	「倉吉駅を利用する学生・地域住民の利便性を考慮した店舗展開、商品構成、地域性のある商品メニュー開発を行う地元企業や起業するテナントを誘致するテナントビルを整備。 助成/ 商品メニュー開発/ PR ⇒経済産業省補助金を活用し、市からの補助金は予定していない。そのため戦略掲載による交付金は使用しない。	しない	～平成31年度	未定	新規	㈱アノログ	なし	利用者数	中心市街地活性化基本計画掲載経済産業省の補助金を活用予定				
103	まちづくり	20時以降に倉吉駅～西倉吉間を運行する夜間時間帯バス運行事業	・人、交通(公共バスシステム)が繁(る)がまちづくりが必要ではないか?		・公共交通ネットワークの確立。人が動く、物が動くことで企業誘致が便利になる - 上遊						総合政策課	今まで20時以降の帰宅等の時間帯に利用できなかったバスを運行することで、中心市街地内におけるバスサービスの向上を図る。 ニーズ調査/ 効果検証/ 運行計画立案 ⇒平成27年10月より運行開始。		平成27年10月～平成32年3月	7562(税抜、補助金)	新規	日本交通株式会社	なし	利用者数1,450人	中心市街地活性化基本計画掲載。倉吉市対話集意見により支援				
104	まちづくり	健康・介護と連携した「新湯治」関金温泉モデルの構築事業	・関金温泉に足湯を作る(ラドン温泉をもっと前面に出しては)。 ・老人が集まればその周辺には若者も集まります。例えば温泉を活用した医療施設等で全国からリハビリを求めている人達を呼び込むこともできるのではないかと考えます。		・湯命館を核とした観光の推進、山荘の利用。(B&G、木ノ葉の里)、運動施設の活用 - 関金 ・関金温泉の活用、湯中運動、薬膳料理、旧旅館の復活(温せい桜) / グリーンスコリーに小・中・高のスポーツ合宿 - 関金		・関金温泉を発信すること。温泉を活用したリゾート開発が考えられる。 ・関金温泉を活用した観光振興を考えた場合、温泉を医療に応用する方法はないか。					観光交流課 医療保険課 長寿社会課 保健センター	関金温泉の活性化をテーマに「健康」に位置づけ、市民の健康向上と温泉利用型健康増進施設への認定(医療費控除可)「健康」(食・リテック)「オーグ」(湯中運動など)商品開発により、健康・介護と連携した滞在型の温泉保養地を目指す。 施設認定/ 指導者等人材育成/ 健康	する	不明		新規	市民観光客	関金温泉への宿泊者数19千人	関金温泉への宿泊者数21千人	関金旅館組合での意思統一が必要。関金温泉を活用した健康づくりの推進			
105	まちづくり	関金温泉旧老舗旅館活用プロジェクト事業	・関金温泉の活性化、取り組みが全(ま)かされておらず。合併以前の方が良かったという意見をよく耳にします。		・「にぎわい」のある町にしたい。情報提供、事業者に対する支援(起業) - 明倫 ・温泉街の復活、湯命館を核とした観光の推進 - 関金		・関金温泉を発信すること。温泉を活用したリゾート開発が考えられる。 ・関金温泉を活用した観光振興を考えた場合、温泉を医療に応用する方法はないか。					観光交流課	「関金温泉の旧老舗旅館を活用して交流拠点をつくる。カフェ、チャレンジショップ、展示、イベント」などの開催を助成。 運営費の助成	する	H26～継続	事業費8,400千円(県補助金900千円市補助金7,500千円)	継続	しゃあまけ宴会	交流拠点施設の利用者数	交流拠点施設の利用者数	実施団体の自主事業となるよう時限的に補助。			

総合戦略掲載施策関係意見集約表

項目No.	基本方針	戦略を構成する施策 ※印は骨子記載の主要な施策の柱。中点印は骨子記載のもの。赤字は市民提案等によるもの。	市民意識調査結果	子育てアンケート結果	市民対話集意見	一対話集会での市長コメント	部会の関連意見	青年団体提案	青年団体提案に対する市長コメント	男女共同参画の会	パブリックコメント(アイデア募集)	担当課	事業概要 (具体的な施策)	戦略掲載可否	実施期間	事業費(千円)	予算措置状況(新規・継続・拡充)	対象者	(業績評価指標) H26年度時点	(業績評価指標) H31年度時点	備考	
106	まちづくり	観光を構成する施策 ※印は骨子記載の主要な施策の柱。中点印は骨子記載のもの。赤字は市民提案等によるもの。 ・ウォーキングコースと観光基盤整備事業	「アザレアのまち」として美しい景観、ウォーキング、山登り等健康的な町(温泉)としてのPR、意識改革が必要と思う。 ・倉吉市には幾つかの歴史的建造物があり、また陸上競技場を中心としたスポーツ施設があり、開金を中心とした温泉および雄大な自然の緑・田畑、文化施設として未来中心がありますが、それぞれが個々単体としてあり、集客・賑わいに結びついていないように感じます。 ・高齢者が利用しやすい運動場(グラウンドゴルフ、ウォーキング)。		・「にぎわい」のある町にしたい。(観光資源の有効活用) - 明倫		・ポランディアとして、学生や看護師、各方面の専門家の参加も促していきたい。 ・距離を記載した道路標識の設置・整備による気軽に参加しやすい環境づくりが大切だと感じる。コースのスタート地点周辺の駐車場の増設やアクセスの良さが、利用者数に大きく影響すると思う。シャワーなどの設備が充実するとも、利用者にとってさらに使いやすさが増す。	・10月に中部でウォーキングイベントを開催されるが、観光業の活性化期であるこの時期に新たにイベントを打つのではなく、春先などの閑散時期にするなど開催時期を考えるべき。				観光交流課 保健センター	打吹山のトレッキングコースと白壁土蔵群周辺のタウンウォークを組み合わせたウォーキングコースを新たに設定。コースのインフラ整備/ PR	する	H27～継続	拡充	市民 観光客	ウォーキング利用者数	ウォーキング利用者数	観光・まちづくり協働づくりの統合		
107	まちづくり	観光を構成する施策 ※印は骨子記載の主要な施策の柱。中点印は骨子記載のもの。赤字は市民提案等によるもの。 ・ウォーキングコースと観光基盤整備事業	「アザレアのまち」として美しい景観、ウォーキング、山登り等健康的な町(温泉)としてのPR、意識改革が必要と思う。 ・倉吉市には幾つかの歴史的建造物があり、開金を中心とした温泉および雄大な自然の緑・田畑、文化施設として未来中心がありますが、それぞれが個々単体としてあり、集客・賑わいに結びついていないように感じます。 ・高齢者が利用しやすい運動場(グラウンドゴルフ、ウォーキング)。		・情報提供、観光ガイドの養成、住民への働きかけ(意識) - 明倫		・白壁あたりでは観光客を多数見かけるが、その外部で観光客を見る機会が少ない実感がある。					総合政策課 観光交流課	新たに整備するたからや跡地の観光駐車場から、白壁土蔵ま観光客に誘き寄せない導線整備を行う。	する	H28～	新規	観光客	白壁土蔵群への観光客入込数 年間 61万人	白壁土蔵群への観光客入込数 年間67万人	銀座商店街の空き店舗対策や緑の彫刻プロムナードの整備について、関係課と連携が必要		
108	まちづくり	◆高齢になっても障がいがあっても安心して健康でいきいき活躍できる環境づくり						・人口ビジョン(骨子)によると、今後の人口目標が、現状維持以下となっている。思い切って、人口が増加するよう目標を掲げることはできないか。														
110	まちづくり	地域おこし協力隊・集落支援員配置事業	・倉吉市は住みよい街である事をアピールする(災害が少ない)小鴨		・定住、若者の定住、地元の魅力を再認識し、移住者にPRする(対話集会に参加し話し合う)。 ・空家として提供する体制構築。移住者をあたたか迎え入れ。 ・地元の人材パワーをポランディアで活用。 ・子育てへの金銭的支援をし、安い一戸建てを提供する。 ・集落支援員を増やす - 開金		・地域づくりにも、人づくりが必要である。地域リーダーの養成や、コーディネートできる人を養成することが必要である。 ・人材育成強化は5つの施策項目に共通して、重要視しており、6次産業化、地域活動等のチームの総数を増やしていく必要がある。 ・課題に対して、地域資源を最大限に活かして行政、企業、地域おこし協力隊等が協力していくことが大切。 ・木質バイオマス事業による雇用者を移住者により訪れない、林業と地域に働き手につなげていく。					地域づくり支援課	地域おこし協力隊を農林水産業と地域の担い手として活用することを検討する 情報発信、地域活動への参画、魅力向上、地域の組合への参加など。集落支援員は、課題解決に向けた話し合いをコーディネートしながら、地域の実情に対応した集落の維持及び活性化対策を支援。 地域おこし協力隊・集落支援員配置/ 研修・勉強会などによる人材育成	する	H27～H31	-	新規	地域おこし協力隊・集落支援員	地域おこし協力隊・集落支援員配置数 5人	地域おこし協力隊・集落支援員配置数 10人		
111	まちづくり	地域をつなぐ拠点づくり事業	・先ずは身近な町内から血の通った交流、ふれ合いにより助け合い話し合い、住みよい隣人を育てることから始めていく。 ・行政から言われてやるのではなく、自分達がやりたいと思うことをサポートする、全地区同じように行う必要はなく、必要な所に。	大きな勢力である高齢者の皆さんが地域の中で活躍し、元気に暮らして頂ける、そういう地域づくりが必要。 - 北谷	・人材も育成、リーダー、仲間づくり、ネットワークづくり - 成徳		・いろいろな団体が集まっている拠点が(以前はあった)があると、情報が一箇所で全て手に入るという利点があると考えられるので、そのような拠点ができれば。					総合政策課 地域づくり支援課 生涯学習課	地域に住む人たちが自分たちの地域を支え合う体制をしっかりと構築するため、地域福祉の中心的担い手である倉吉社会福祉協議会及び地区社会福祉協議会と市民・行政が連携しながらポランディアセンターを核に、地域福祉を支える各種ポランディア・市民団体への市民の参加促進と育成とネットワーク化を図る。 人材育成/ 行政と市民団体とのネット	する	H27～H31	-	新規	市民	-	-	当該事業は、関係事業を統合するもので、個別の事業のことを指すものではない。	
112	まちづくり	世代を超えて同じ地域・地区でのつながりを強化。 (※)母校に集まれ先輩・後輩!	・地域での小学校統廃合に関して、廃校地域に居住して子どもを育てたいと考える若い人はいないだろうか。									地域づくり支援課	・これから担って行く若い人たちに考えてもらいたい ・廃校小を再編で廃止し、グラウンドを観光拠点として観光交流センター(仮称)を配置し、大物産館、大駐車場として整備する。大型商業施設と併設または打吹公園と伝統的建造物を地下道高次に直結する。	する	H27～H31	-	新規	市民	再利用した公共施設数 0 施設	再利用した公共施設数 2 施設	No.111に含む。	
113	まちづくり	市民対話集会実施支援事業	・住民の意思改革の為に手立てがまず第一歩。 ・市民がまちづくりに参加しやすい体制づくり。 ・年齢を問わず老人・成人・子供と何と話し合い今後の町作り、人づくりにつなげる方法を考えてほしい。		・高齢者の集まれる場所(サロン、交流の場) - 成徳 ・移住者にPRする(対話集会に参加し話し合う) - 開金		・地域づくりにも、人づくりが必要である。地域リーダーの養成や、コーディネートできる人を養成することが必要。 ・各地域で抱えている問題は違うため、各地域の自治会と対話を持つ					地域づくり支援課	定期的に地域での集まりを持ち、話が出来る機会を継続させることにより、地域コミュニティに対する意識啓発を進め、機運を高める。また、自主的に活動領域を拡大し、それぞれの地域の特徴を活かした活気のある地域づくりを目指す。 各種支援制度/ 情報の提供	しない	H27～H31	100	継続	市民	市民対話集会実施回数 0 回	市民対話集会実施回数 65 回	No.111に含む。	
114	まちづくり	地域スペシャリスト市職員制度事業	・人材の増員充実は地方創生にも大切かと思えます。		・地域づくりにも、人づくりが必要である。地域リーダーの養成や、コーディネートできる人を養成することが必要。 ・人材育成強化、地域活動等のキー		・地域づくりにも、人づくりが必要である。地域リーダーの養成や、コーディネートできる人を養成することが必要。 ・人材育成強化、地域活動等のキー					地域づくり支援課	地区ごとに担当職員が定期的に出向き、交流の機会や広報誌の説明など行う地域スペシャリスト市職員の設置についてニーズ調査及び導入への検討を行う。	する	H27～H31	-	新規	市民	地域スペシャリスト市職員配置数 0人	地域スペシャリスト市職員配置数 65人	No.111に含む。	
115	まちづくり	地域の資源を促しての環境・子供教育促進(※)ダッシュ村で地域活性化	・遊休農地の活用-小鴨 ・農業を活かして人を呼び込む ・子供に農業体験させる。成功者の話を聞かせる(授業の一環)。-小鴨		・ダッシュ村で地域起こをする。- 高城		・学校も地域を支える一つの組織と考え、地域学校委員会を組織し、専任のいないミニ・スクールを構築して子供、学校・保護者が一体となって子どもを育て、地域の後継ぎを育てる活動を、公教育の中で行っている。 ・「アグリキッズスクール」や、小中学校に「農業科目」を設置することなどが考えられる。					生涯学習課	・緑を活かしたまちづくり。①市内の街路樹マップを作成し、冊子で発信。②街路樹リリーの実施。③「打吹山の樹木草花」本の作成、イベントなど。このまちに育てて豊かな環境を作っている植物や樹木のことをもっと知りたいと、関心を持ってもらいたい。	する	H27～H31	1,000	新規	参加を希望する児童・生徒	野外活動参加児童等 0人 人	野外活動参加児童等 650 人	農業、緑化拠点であれば農林課、地域づくり課を中心に、青少年教育の充実の観点であれば生涯学習課で対応。 No.111に含む。	
116	まちづくり	地域リーダー育成事業			・地域でリーダーとなる人材育成。リーダーを中心とした活気あるコミュニティ強化 - 成徳 ・地域リーダー・コーディネーターの育成が必要(盛り上げる人) - 上北条 ・同じ方向を見て進んでいける住民づくり、リーダーの育成 - 開金 ・青年団、婦人会一組織の活性化。ダッシュ村- 高城		・地域づくりにも、人づくりが必要である。地域リーダーの養成や、コーディネートできる人を養成することが必要である。 ・人材育成強化、地域活動等のチームの総数を増やしていく必要がある。 ・シニア世代の得意分野と地域課題のマッチングがねらいである。シニア世代のリーダーをどう育成していくことができるか。50～60代で、リーダーグループを組織し、70～80代に高齢者も引っ張っていくのが良いの。					地域づくり支援課 観光交流課	地域活性化には率先してみんなを引っ張っていくリーダーの存在が必要不可欠であることから、研修や講座受講などにより、これを養成しながら、リーダーとしてのスキルアップを促すことにより、各地域との絆を深めていくことを検討する。	する	H27～31	1,000	新規	参加を希望する市民	研修会参加者数 0人	研修会参加者数 65人	No.111に含む。	
117	まちづくり	市民防災力の強化・向上につなげる自主防災組織促進事業	・先の火災による損失を防ぐ為の対策として防災設備を充実させる。 ・防災施設の建設等の充実をお願いしたい。広い駐車場などの隣接、高齢者が安心して避難できる場所が欲しい。				・防災訓練が、人の活躍という流れの中で取り組まれることを望む。小中学校ではカリキュラムが取れないと言われることもあるので、自分たちが地域に出でいき、防災訓練について伝えていくことで、地域の理解が進むと良い。 ・地域全体の組織化等を担うコーディネーターとして、地域防災員を配置。 ・自主防災組織をつくることに関しては、市から出る補助金によってサ					防災安全課	地域住民が自主的に防災活動を行う団体を全自治公民館に組織する。	しない	H27～H31	4,550	継続	自主防災組織	自主防災組織率74.7%	自主防災組織率100%		
118	まちづくり	検診受診率の向上と健康意識の改善に取り組む看護大学まちの保健室推進事業	・長野県などをお手本に40～50歳代から何か健康に意識が高まる取り組みを行ってほしい。 - 西郷 ・マイナンバーを活用して情報管理をし、高齢者の方々の健康づくり、元気づけりに取り組む。 - 西郷 ・生きがい作りは健康づくりとも関連する。健康づくりを考えていく必要がある。 - 西郷 ・看護大学とタイアップして取り組む健康づくりをやる必要がある。 - 西郷	健康づくりのメニューやスポーツ活動の場所を提供したり、自治連で行っている健康車向上プロジェクトみたいな健康チェックもしていきたい。 - 明倫	健康づくり マイナンバーで健康情報/ 高齢者生きがいの活用/ 看護大の活用/ 水の活用 - 西郷		・認知症の予防などに取り組んでいる。自治公民館で集まり、声かけ活動を行っている。 ・1年生の8月～9月に、学生たちを公民館に案内にさせる。6月に12月までイベントなどに参加する。「まちの保健室」の取組を行う。 ・受診額の補助、年齢を絞るなどして市民の声を聞き、低受診率の問題点の洗い出し。受診の時間作りが難しいので企業への呼びかけをする。					総合政策課 生涯学習課 長寿社会課 保健センター 生涯学習課	「まちの保健室」を全地域に普及させ、自分の健康を振り返ったり、相談できる場により健康意識と受診率の向上につなげる。 ・学習や地域と行政が連携して、地域の健康づくりを支援するシステムをつくる。	する	H27～H31	500	新規	主に高齢者	まちの保健室開催地区 0 地区	まちの保健室開催地区 13 地区		
121	まちづくり	ケーブルテレビ網のICTを活用した見守りシステム整備事業			健康づくり マイナンバーで健康情報 - 西郷		・高齢者福祉に焦点をあて、高齢者に対して優しい町にすれば、雇用も増えるのではないかと。 ・高齢者の相談に対応し、地域が住みやすくなることを目指している。 ・CCRC(Continuing Care Retirement Community - 健康時から介護時まで継続的ケアを提供する米国の高齢者施設のコンセプト導						総合政策課 長寿社会課	高齢者や子供、障害者など、見守りが必要な方に対して、ケーブルテレビの通信を活用してテレビの利用状況を把握することにより、生活状況や帰宅時間の把握を行う IoT整備/ 活用システムの構築	する	H27～H31	40,000	新規	高齢者、障害者、子育て世帯など	サービス加入者数 0件	サービス加入件数 600件	

総合戦略掲載施策関係意見集約表

項目No.	基本方針	戦略を構成する施策 ※印は骨子記載の主要な施策の柱。中点印は骨子記載のもの。赤字は市民提案等によるもの。	市民意識調査結果	子育てアンケート結果	市民対話集意見	一対話集会での市長コメント	部会の関連意見	青年団体提案	一青年団体提案に対する市長コメント	男女共同参画の会	パブリックコメント(アイデア募集)	担当課	事業概要 (具体的な施策)	戦略掲載可否	実施期間	事業費(千円)	予算措置状況 (新規・継続・拡充)	対象者	(業績評価指標) H26年度時点	(業績評価指標) H31年度時点	備考
122	まちづくり	移動販売車での遠隔地購買促進	・地元店の移動販売推進(車などの助成) - 北谷 ・公共交通ネットワークの確立。 - 上灘	・お店がなくなったというのかなり切実な問題。コンビニは安定的な経営が難しく、移動販売等も含めて検討していかないといいけないと思う。 - 北谷	・地元店の移動販売推進(車などの助成) - 北谷 ・公共交通ネットワークの確立。 - 上灘	・お店がなくなったというのかなり切実な問題。コンビニは安定的な経営が難しく、移動販売等も含めて検討していかないといいけないと思う。 - 北谷						総合政策課	交通が不便&免許を返上したとなると高齢者にとっては買い物が大変。各地域の実情を踏まえながら、ニーズ調査及び費用対効果の調査検討を行い、必要な地域には市から車の助成、または助成金などの補助を行うことを検討する。 ニーズ調査/費用対効果調査/協力事業者への助成	する	H26~H31	-	新規	移動販売事業者	移動販売事業者補助件数 0件	移動販売事業者補助件数 1件	
123	まちづくり	デマンドタクシーの運行検討(高)乗り合いタクシーで和気あいあい事業	・高齢者が利用しやすい移動手段の確保。高城のようなバスの整備が必要。 - 西郷 ・店、病院に近いので移動手段を確保/デマンドタクシー - 北谷 ・駐車場確保(100円/バス) - 西郷 ・公共交通ネットワークの確立。 - 上灘 ・公共交通機関の充実、(老人が)独立して生活できる環境。高齢者に免許を返還してもらい、その代わりにバス料金を割引	・高齢者の住みやすい地域づくりとして、公共交通機関の問題がある。 - 北谷 ・今、空で走っている定期バスもどういうふうにするのか大きなテーマである。 - 西郷 ・打吹公園をもう少し魅力あるものに、そのためにも100円バスのような交通機関を使って、公園に行きやすい環境も作っていかないといいけない。 - 西郷	・高齢者の方の利用しやすい移動手段の確保。高城のようなバスの整備が必要。 - 西郷 ・店、病院に近いので移動手段を確保/デマンドタクシー/無関心にならず声をかける。 - 北谷 ・打吹公園をもう少し魅力あるものに、そのためにも100円バスのような交通機関を使って、公園に行きやすい環境も作っていかないといいけない。 - 西郷	・高齢者の住みやすい地域づくりとして、公共交通機関の問題がある。 - 北谷 ・今、空で走っている定期バスもどういうふうにするのか大きなテーマである。 - 西郷 ・打吹公園をもう少し魅力あるものに、そのためにも100円バスのような交通機関を使って、公園に行きやすい環境も作っていかないといいけない。 - 西郷						総合政策課	各地域の実情を踏まえながら、持続可能な公共交通システムの実現に向けた検討を進める。NPO法人たかしのボランティアタクシー事業などを参考に、ニーズ及び費用対効果の調査検討を行い、事業導入、改訂などを検討する。 ニーズ調査/費用対効果調査/協力事業者への助成 ⇒平成27年10月より、北谷高城地区でデマンドタクシー運行を実施。その他の地域については、調査実施の上、デマンドタクシー等の運行が可能であれば、遠	する	H27~H31	-	新規	運行事業者等	調査検討区域数 0区域 (運行になった場合は、運行実施区域数及び利用者数)	調査検討区域数 3区域 (運行になった場合は、運行実施区域数及び利用者数)	運行に関しては倉吉市バス運行対策費補助金により支援
124	まちづくり	倉吉エリア情報発信をラジオ番組で促進	・市議会革命で新しい倉吉をつくる。議員報酬を現在の1/2の額にし、議員数を倍増する。議員総数の半数を女性とする法制化を決める。議員の生業又は副業を認めるが、議会の出席率85%とし、市議会に市民参加の休日午後、夜間の開会とする。場所は狭い現議会議室ではなく交流プラザのホールなど。常時ケーブルテレビや、ローカルラジオなどで中継。ネット多様も。情報公開、多様					・仕事でアジアの国々へ営業に出かけるが、倉吉市の知名度が低すぎると感じる。市のインパクトが少ない。もっと露出をして、市の知名度を上げてはどうか。	・現時点では市報、CATV等を通じてPRを行っている。市民に対しては、情報提供を行っていききたい。 ・国内でのPRについて、努力を続けていきたい。 ・良いところを伸ばしていく。 ・誘致企業のグッドスマイルカンパニーと協力しながら、くらすけんを活用したPRを考えている。			総合政策課	倉吉市のラジオ番組で、ローカル情報や地区の特色を発信していける内容を放送することを検討する。	する	H27~31	-	新規	放送エリアのリスナー	放送局設置数 0局	放送局設置数 1局	